

注3

大学番号：私立011

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

認可

岩手医科大学 看護学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人岩手医科大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 看護学部教務課

職名・氏名 課長 マツダ トシヒコ
松田 俊彦

電話番号 019-651-5110（内線5010）

（夜間） 019-651-5111（代表）

F A X 019-698-1826

e-mail kangokyomu@j.iwate-med.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	43
7. その他全般的事項	46

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人岩手医科大学

(2) 大学名

岩手医科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒028-3694

岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オガワ アキラ) 小川 彰 (平成24年2月)		
学長	(ソブエ ケンジ) 祖父江 憲治 (平成28年4月)		
学部長	(シマモリ ヨシコ) 嶋森 好子 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください）。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
看護学部 看護学科 学士（看護学）	保健衛生学関係 （看護学関係）	4年	90人	3年次 5人	370人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	90 (-) [-]	(-) [-]	90 (-) [-]	(-) [-]	90 (5) [-]	(-) [-]	90 (5) [-]	(-) [-]	1.02 倍	-	
志願者数	() []	() []	308 (-) [-]	(-) [-]	293 (-) [-]	(-) [-]	243 (0) [-]	(-) [-]	279 (1) []	(-) [-]			
受験者数	() []	() []	290 (-) [-]	(-) [-]	285 (-) [-]	(-) [-]	231 (0) [-]	(-) [-]	271 (0) [-]	(-) [-]			
合格者数	() []	() []	142 (-) [-]	(-) [-]	139 (-) [-]	(-) [-]	141 (0) [-]	(-) [-]	142 (0) [-]	(-) [-]			
B 入学者数	() []	() []	95 (-) [-]	(-) [-]	93 (-) [-]	(-) [-]	90 (0) [-]	(-) [-]	90 (0) [-]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A			1.05		1.03		1.00		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	95 [-] (-)	- [-] (-)	93 [-] (-)	- [-] (-)	90 [-] (-)	- [-] (-)	91 [-] (1)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	95 [-] (-)	- [-] (-)	93 [-] (-)	- [-] (-)	89 [-] (1)	- [-] (-)	
3年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	95 [-] (-)	- [-] (-)	93 [-] (1)
4年次	/				/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	93 [-] (-)
計			[-] (-)	[-] (-)			95 [-] (-)	[-] (-)	188 [-] (-)	[-] (-)	278 [-] (-)

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	— 人	— 人	平成28年度	人	人	
平成29年度	95 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	188 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	278 人	2 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和2年度	366 人	0 人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		2 人		2 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{188} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{278} = \boxed{0.71} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{366} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<看護学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
I P E 関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								20
	チーム医療リテラシー	3前	1			3					15
	4学部合同セミナー	4前	1			7	1				21
	小計 (3科目)	-	4	0	0	7	1	0	0	0	49
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1								1
	基礎自然科学	1前	1				1				
	情報科学	1前	2								1
	健康運動科学	1前	2								4
	社会福祉	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	医療面接の基礎	1後	1								2
	生命倫理学	1後	1								1
	English Speaking & Listening	1後	1								4
	English Reading & Writing	1通	3								3
	医療英語	2前	1								2
	ベーシック生物	1前		1							3
	スタンダード生物	1前		1							3
	アドバンスト生物	1前		1							9
	自然・文化人類学	1前		1							6
	ベーシック化学	1前		1							1
	ベーシック物理	1前		1							3
	解析学入門	1前		1							1
	医療とスポーツ	1前		1							5
	文学の世界	1前		1							1
	道徳のしくみ	1前		1							1
	ベーシック数学	1前		1							2
	アドバンスト化学	1前		1							1
	医療とコミュニケーション	1前		1							4
	実践英語	1前		1							1
	医療と福祉	1前		1		1	1				9
	科学英語	1後		1							1
	英語学	1後		1							1
	医療と物語	1後		1							5
	人間関係論	1後		1							2
	パーソナリティ心理学	1後		1							1
	哲学の世界	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
	小計 (33科目)	-	15	22	0	1	2	1	0	0	50
専門科目群	栄養学	1後	1			1					
	生化学	1後	2				1				
	感染免疫学	1後	2					1			
	基礎解剖学	1通	2								1
	基礎生理学	1通	2								1
	病理学概論	1後	1								1
	薬理学	2前	2				1	1			
	臨床心理学	2前	1								1
	疾病論 I	2前	2			1					
	疾病論 II	2前	2								8
	疾病論 III	2後	2								9
	疾病論 IV	2後	2								5
	医学・医療入門	1前	1			2	1	1			3
	公衆衛生学・疫学	3前	2								1
	保健統計学	3前	2								1
	小計 (15科目)	-	26	0	0	2	2	2	0	0	30
看護専門科目	看護学概論	1前	2			3	2				
	看護倫理学	3前	1			1		1			
	基礎看護学 I	1前	1			1		1	5		
	基礎看護学 II	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学 III	1後	1					1	5		
	基礎看護学 IV	1後	2			1					
	基礎看護学 V	2前	2			1		1	5		
	成人看護学概論	2前	1				1	1			
	成人看護方法論 I	2前	2					1	1		
	成人看護方法論 II	2前	2				1				
成人看護学演習 I	2前	1					1	2	1		
成人看護学演習 II	3前	1				1			2	1	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
I P E 関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								25
	チーム医療リテラシー	3前	1				3				43
	4学部合同セミナー	4前	1				7	1			70
	小計 (3科目)	-	4	0	0	7	1	0	0	0	117
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1								1
	基礎自然科学	1前	1					1			
	情報科学	1前	2								2
	健康運動科学	1前	2								5
	社会福祉	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	医療面接の基礎	1後	1								2
	生命倫理学	1後	1								1
	English Speaking & Listening	1後	1								4
	English Reading & Writing	1通	3								3
	医療英語	2前	1								2
	ベーシック生物	1前		1							3
	スタンダード生物	1前		1							4
	アドバンスト生物	1前		1							10
	自然・文化人類学	1前		1							7
	ベーシック化学	1前		1							1
	ベーシック物理	1前		1							2
	解析学入門	1前		1							1
	医療とスポーツ	1前		1							4
	文学の世界	1前		1							1
	道徳のしくみ	1前		1							1
	ベーシック数学	1前		1							2
	アドバンスト化学	1前		1							1
	医療とコミュニケーション	1前		1							5
	実践英語	1前		1							1
	医療と福祉	1前		1				1	1		11
	科学英語	1後		1							1
	英語学	1後		1							1
	医療と物語	1後		1							10
	人間関係論	1後		1							2
	パーソナリティ心理学	1後		1							3
	哲学の世界	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
	小計 (33科目)	-	15	22	0	1	2	1	0	0	60
専門科目群	栄養学	1後	1					1			
	生化学	1後	2					1			
	感染免疫学	1後	2						1		
	基礎解剖学	1通	2								1
	基礎生理学	1通	2								1
	病理学概論	1後	1								3
	薬理学	2前	2					1	1		
	臨床心理学	2前	1								2
	疾病論 I	2前	2			1					
	疾病論 II	2前	2								8
	疾病論 III	2後	2								9
	疾病論 IV	2後	2								5
	医学・医療入門	1前	1					2	1	1	4
	公衆衛生学・疫学	3前	2								1
	保健統計学	3前	2								2
	小計 (15科目)	-	26	0	0	2	2	2	0	0	35
看護専門科目	看護学概論	1前	2			3	2				
	看護倫理学	3前	1			1		1			
	基礎看護学 I	1前	1			1		1	5		
	基礎看護学 II	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学 III	1後	1					1	5		
	基礎看護学 IV	1後	2			1					
	基礎看護学 V	2前	2			1		1	5		
	成人看護学概論	2前	1					1	1		
	成人看護方法論 I	2前	2						1	1	
	成人看護方法論 II	2前	2					1			
成人看護学演習 I	2前	1						1	2	1	
成人看護学演習 II	3前	1				1			2	1	

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
老年看護学	老年看護学概論	2前	1			1						
	老年看護学方法論	2後	2			1						
	老年看護学演習	3前	1			1		1	1			
	小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護学方法論	2後	2			1	1				
		小児看護学演習	3前	1			1	1		1		
	母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護学方法論	2後	2			1	2				
		母性看護学演習	3前	1			1	2	1	1		
	精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
		精神看護学方法論	2後	2			1	2				
		精神看護学演習	3前	1			1	2				
在宅看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1						
	地域看護学Ⅱ	3前	2			1						
	地域看護学方法論	3前	1			1	1					
	地域看護学展開論	3前	1			1	1	1				
	在宅看護学概論	2前	1			1						
	在宅看護学方法論	2後	2			1	1					
	在宅看護学演習	3前	1			1	2	2	1			
看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1	
	国際看護学	2前	1			1			1			
	看護研究入門	2前	1			1						
	医療安全論	2後	1			1						
	緩和ケア論	2後	1			1					1	
	看護政策論	4前	1			1						
	看護管理学	4前	1			1						
看護研究	4前	1			7	3	9	2				
臨床実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	2			3	1	4	5	2		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	1			1	1	2	7	1		
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2			
	成人看護学急性期実習	3後	3				1	2	2	1		
	老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1		
	小児看護学実習	3後～4前	2			1	1		1	1		
	母性看護学実習	3後～4前	2			1	2	1	1	1		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1	2		2	1		
	在宅看護学実習	3後～4前	2			1	2	2	2	1		
	統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5		
小計(49科目)	-	73	0	0	7	3	9	11	5	2		
発展科目	医療情報論	3・4前	1								1	
	先端医療論	3・4前	1								7	
	災害医療論	3・4前	1								1	
	家族ケア論	4前	1			1						
	看護教育論	4前	1								1	
	メンタルヘルスクエア論	4前	1			1						
小計(6科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	10	
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前	1			1						
	公衆衛生看護学方法論	3後	2			1	3	2	1	2		
	公衆衛生看護学展開論	3後	2			1	2	2	1	1		
	公衆衛生看護学管理論Ⅰ	4前	2			1	2	2	1			
	公衆衛生看護学管理論Ⅱ	4前	1			1						
	公衆衛生看護学実習	4後	3			1	2	2	1			
	日本国憲法	2後	2								1	
	小計(7科目)	-	0	13	0	1	0	3	2	1	4	
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前	2			1						
	助産診断技術学Ⅰ	3後	1			1	1					
	助産診断技術学Ⅱ	3後	2			1	1					
	助産診断技術学Ⅲ	3後	1			1	2					
	助産診断技術学Ⅳ	4前	2			1	2	1	1			
	助産診断技術学Ⅴ	4後	2			1	2					
	地域母子保健	4後	1			1	2					
	助産管理学	4後	1			1						
	助産学実習Ⅰ	4後	2			1	2	1				
	助産学実習Ⅱ	4後	8			1	2	1	1			
小計(10科目)	-	0	22	0	1	0	2	1	1	0		
自由科目	看護研究実践演習	4後	0	0	1	7	2	9	0	0	0	
	小計(1科目)	-	0	0	1	7	2	9	0	0	0	
合計(124科目)	-	118	63	1	7	3	10	11	5	109		

卒業要件及び履修方法

「教養教育科目群」から23単位(必修19単位、選択4単位)、「専門科目群」から101単位以上(必修99単位、選択2単位以上)、合計124単位以上を取得すること。
 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて137単位以上を取得すること。
 助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて146単位以上を取得すること。
 (履修科目の登録の上限: 45単位(年間))

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
老年看護学	老年看護学概論	2前	1			1						
	老年看護学方法論	2後	2			1						
	老年看護学演習	3前	1			1		1	1			
	小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
		小児看護学方法論	2後	2			1	1				
		小児看護学演習	3前	1			1	1		1		
	母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
		母性看護学方法論	2後	2			1	2				
		母性看護学演習	3前	1			1	2	1	1		
	精神看護学	精神看護学概論	2前	1			1					
		精神看護学方法論	2後	2			1	2				
		精神看護学演習	3前	1			1	2				
在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1						
	地域看護学Ⅱ	3前	2			1			1			
	地域看護学方法論	3前	1			1	1					
	地域看護学展開論	3前	1			1	1	1				
	在宅看護学概論	2前	1			1						
	在宅看護学方法論	2後	2			1	1		1			
	在宅看護学演習	3前	1			1	2	2	1			
看護の統合と実践	災害ケア論	1前	1			1					1	
	国際看護学	2前	1			1			1			
	看護研究入門	2前	1			1						
	医療安全論	2後	1			1						
	緩和ケア論	2後	1			1						
	看護政策論	4前	1			1						
	看護管理学	4前	1			1						
看護研究	4前	1			7	3	9	2				
臨床実習	基礎看護学実習Ⅰ	1後	2			3	1	3	6	3		
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	1			1	1	4	7	2		
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2			
	成人看護学急性期実習	3後	3				1	2	2	1		
	老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1		
	小児看護学実習	3後～4前	2			1	1		1	1		
	母性看護学実習	3後～4前	2			1	2	1	1	1		
	精神看護学実習	3後～4前	2			1	2		2	1		
	在宅看護学実習	3後～4前	2			1	2	2	2	1		
	統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	6		
小計(49科目)	-	73	0	0	7	3	9	11	6	7		
発展科目	医療情報論	3・4前	1								1	
	先端医療論	3・4前	1								7	
	災害医療論	3・4前	1								4	
	家族ケア論	4前	1			1						
	看護教育論	4前	1								1	
	メンタルヘルスクエア論	4前	1			1						
小計(6科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	13	
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前	1			1						
	公衆衛生看護学方法論	3後	1			1	2	2	1	3		
	公衆衛生看護学展開論	3後	1			1	2	2	1	1		
	公衆衛生看護学管理論Ⅰ	4前	1			1	2	2	1			
	公衆衛生看護学管理論Ⅱ	4前	1			1						
	公衆衛生看護学実習	4後	3			1	2	2	1			
	日本国憲法	2後	2								1	
	小計(7科目)	-	0	10	0	2	0	2	2	1	5	
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前	1			1						
	助産診断技術学Ⅰ	3後	1			1	1					
	助産診断技術学Ⅱ	3後	1			1	1					
	助産診断技術学Ⅲ	3後	1			1	2					
	助産診断技術学Ⅳ	4前	2			1	2	1	1			
	助産診断技術学Ⅴ	4前	1			1	2					
	地域母子保健	4後	1			1	2					
	助産管理学	4後	1			1						
	助産学実習Ⅰ	4後	2			1	2	1				
	助産学実習Ⅱ	4後	8			1	2	1	1			
小計(10科目)	-	0	19	0	1	0	2	1	1	0		
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	7	2	9				
	地域医療課題解決演習 1～4週	1～4後			1	2	9				8	
小計(2科目)	-	0	0	2	7	2	9	0	0	8		
合計(125科目)	-	118	57	2	7	3	10	11	6	190		

卒業要件及び履修方法

「教養教育科目群」から23単位(必修19単位、選択4単位)、「専門科目群」から101単位以上(必修99単位、選択2単位以上)、合計124単位以上を取得すること。
 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて134単位以上を取得すること。
 助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて143単位以上を取得すること。
 (履修科目の登録の上限: 45単位(年間))

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
I P E 関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								25
	チーム医療リテラシー	3前	1			3					42
	4学部合同セミナー	4前	1			8	1				20
	小計 (3科目)	-	4	0	0	8	1	0	0	0	71
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1								1
	基礎自然科学	1前	1				1				
	情報科学	1前	2								1
	健康運動科学	1前	2								4
	社会福祉	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	医療面接の基礎	1後	1								2
	生命倫理学	1後	1								1
	English Speaking & Listening	1後	1								4
	English Reading & Writing	1通	3								3
	医療英語	2前	1								2
	ベーシック生物	1前		1							4
	スタンダード生物	1前		1							4
	アドバンスト生物	1前		1							10
	自然・文化人類学	1前		1							7
	ベーシック化学	1前		1							1
	ベーシック物理	1前		1							3
	解析学入門	1前		1							1
	医療とスポーツ	1前		1							3
	文学の世界	1前		1							1
	道徳のしくみ	1前		1							1
	ベーシック数学	1前		1							2
	アドバンスト化学	1前		1							1
	医療とコミュニケーション	1前		1							5
	実践英語	1前		1							1
	医療と福祉	1前		1		1	1	1			10
	科学英語	1後		1							1
	英語学	1後		1							1
	医療と物語	1後		1							12
	人間関係論	1後		1							2
	パーソナリティ心理学	1後		1							3
	哲学の世界	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
小計 (33科目)	-		15	22	0	1	2	1	0	0	59
専門科目群	栄養学	1後	1			1					
	生化学	1後	2				1				
	感染免疫学	1後	2					1			
	基礎解剖学	1通	2								1
	基礎生理学	1通	2								1
	病理学概論	1後	1								3
	薬理学	2前	2				1	1			
	臨床心理学	2前	1								2
	疾病論 I	2前	2			1					
	疾病論 II	2前	2								8
	疾病論 III	2後	2								9
	疾病論 IV	2後	2								5
	医学・医療入門	1前	1			2	1	1			4
	公衆衛生学・疫学	3前	2								1
	保健統計学	3前	2								1
小計 (15科目)	-		26	0	0	2	2	2	0	0	34
看護専門科目	看護学概論	1前	2			3	2				
	看護倫理学	3前	1			1		1			
	基礎看護学 I	1前	1			1		1	5		
	基礎看護学 II	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学 III	1後	1					1	5		
	基礎看護学 IV	1後	2			1					
	基礎看護学 V	2前	2			1		1	5		
	成人看護学概論	2前	1				1	1			
	成人看護方法論 I	2前	2					1	1		
	成人看護方法論 II	2前	2				1				
成人看護学演習 I	2前	1					1	2	1		
成人看護学演習 II	3前	1					1	2	1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
I P E 関連科目	多職種連携のためのアカデミックリテラシー	1通	2								25
	チーム医療リテラシー	3前	1			3					14
	4学部合同セミナー	4前	1			7	1				20
	小計 (3科目)	-	4	0	0	7	1	0	0	0	53
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1								1
	基礎自然科学	1前	1				1				
	情報科学	1前	2								1
	健康運動科学	1前	2								4
	社会福祉	1前	1								1
	心理学	1前	1								1
	医療面接の基礎	1後	1								2
	生命倫理学	1後	1								1
	English Speaking & Listening	1後	1								4
	English Reading & Writing	1通	3								3
	医療英語	2前	1								2
	ベーシック生物	1前		1							3
	スタンダード生物	1前		1							3
	アドバンスト生物	1前		1							10
	自然・文化人類学	1前		1							7
	ベーシック化学	1前		1							1
	ベーシック物理	1前		1							3
	解析学入門	1前		1							1
	医療とスポーツ	1前		1							5
	文学の世界	1前		1							1
	道徳のしくみ	1前		1							1
	ベーシック数学	1前		1							2
	アドバンスト化学	1前		1							1
	医療とコミュニケーション	1前		1							3
	実践英語	1前		1							1
	医療と福祉	1前		1		1	1	1			9
	科学英語	1後		1							1
	英語学	1後		1							1
	医療と物語	1後		1							5
	人間関係論	1後		1							2
	パーソナリティ心理学	1後		1							1
	哲学の世界	1後		1							1
	医療と法律	1後		1							1
小計 (33科目)	-		15	22	0	1	2	1	0	0	51
専門科目群	栄養学	1後	1			1					
	生化学	1後	2				1				
	感染免疫学	1後	2					1			
	基礎解剖学	1通	2								1
	基礎生理学	1通	2								1
	病理学概論	1後	1								3
	薬理学	2前	2					1	1		
	臨床心理学	2前	1								2
	疾病論 I	2前	2			1					
	疾病論 II	2前	2								8
	疾病論 III	2後	2								9
	疾病論 IV	2後	2								5
	医学・医療入門	1前	1			2	1	1			3
	公衆衛生学・疫学	3前	2								1
	保健統計学	3前	2								1
小計 (15科目)	-		26	0	0	2	2	2	0	0	33
看護専門科目	看護学概論	1前	2			3	2				
	看護倫理学	3前	1			1		1			
	基礎看護学 I	1前	1			1		1	5		
	基礎看護学 II	1後	1			1		1	5		
	基礎看護学 III	1後	1					1	5		
	基礎看護学 IV	1後	2			1					
	基礎看護学 V	2前	2			1		1	5		
	成人看護学概論	2前	1				1	1			
	成人看護方法論 I	2前	2					1	1		
	成人看護方法論 II	2前	2					1			
成人看護学演習 I	2前	1					1	2	1		
成人看護学演習 II	3前	1					1	2	1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
看護専門科目	老年看護学概論	2前	1			1					
	老年看護学方法論	2後	2			1					
	老年看護学演習	3前	1			1		1	1		
	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護学方法論	2後	2			1		1			
	小児看護学演習	3前	1			1		1	1		
	母性看護学概論	2前	1			1					
	母性看護学方法論	2後	2			1		2			
	母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1	
	精神看護学概論	2前	1			1					
	精神看護学方法論	2後	2			1		2			
	精神看護学演習	3前	1			1		2			
在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
	地域看護学Ⅱ	3前	2					1			
	地域看護学方法論	3前	1					2			
	地域看護学展開論	3前	1					1	1		
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護学方法論	2後	2			1			1		
	在宅看護学演習	3前	1			2		2	2	1	
	災害ケア論	1前	1			1					1
	国際看護学	2前	1			1			1		
	看護研究入門	2前	1			1					
看護の統合と実践	医療安全論	2後	1			1					5
	緩和ケア論	2後	1			1					
	看護政策論	4前	1			1					
	看護管理学	4前	1			1					
	看護研究	4前	1			8	3	9	2		
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	1	3	6	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			2	1	4	7	1	
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
	成人看護学急性期実習	3後	3				1	2	2	1	
	老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1	
小児看護学実習	3後～4前	2			1		1	1	1		
母性看護学実習	3後～4前	2			1		2	1	1		
精神看護学実習	3後～4前	2			1		2	2	1		
在宅看護学実習	3後～4前	2			2		2	2	1		
統合看護実習	4後	2			7	2	9	11	5		
小計(49科目)	-	73	0	0	8	3	9	11	5	6	
発展科目	医療情報論	3・4前	1								1
	先端医療論	3・4前	1								7
	災害医療論	3・4前	1								3
	家族ケア論	4前	1			1					
	看護教育論	4前	1								1
	メンタルヘルスクエア論	4前	1			1					
小計(6科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	12	
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前	1			1					
	公衆衛生看護学方法論	3後	1			2		2	2	1	3
	公衆衛生看護学展開論	3後	1			2		2	2	1	1
	公衆衛生看護学管理論Ⅰ	4前	1			2		2	2	1	
	公衆衛生看護学管理論Ⅱ	4前	1			1					
	公衆衛生看護学実習	4後	3			2		2	2	1	
	日本国憲法	2後	2								1
小計(7科目)	-	0	10	0	2	0	2	2	1	5	
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前	1			1					
	助産診断技術学Ⅰ	3後	1			1		1			
	助産診断技術学Ⅱ	3後	1			1		1			
	助産診断技術学Ⅲ	3後	1			1		2			
	助産診断技術学Ⅳ	4前	2			1		2	1	1	
	助産診断技術学Ⅴ	4前	1			1		2			
	地域母子保健	4後	1			1		2			
	助産管理学	4後	1			1					
	助産学実習Ⅰ	4後	2			1		2	1		
	助産学実習Ⅱ	4後	8			1		2	1	1	
小計(10科目)	-	0	19	0	1	0	2	1	1	0	
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	8	2	9			
	地域医療課題解決演習	1～4週			1						9
小計(2科目)	-	0	0	2	8	2	9	0	0	9	
合計(125科目)	-	118	57	2	8	3	10	11	5	147	
卒業要件及び履修方法											
「教養教育科目群」から23単位(必修19単位、選択4単位)、「専門科目群」から101単位以上(必修99単位、選択2単位以上)、合計124単位以上を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて134単位以上を取得すること。 助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて143単位以上を取得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
看護専門科目	老年看護学概論	2前	1			1					
	老年看護学方法論	2後	2			1					
	老年看護学演習	3前	1			1		1	1		
	小児看護学概論	2前	1			1					
	小児看護学方法論	2後	2			1		1			
	小児看護学演習	3前	1			1		1	1		
	母性看護学概論	2前	1			1					
	母性看護学方法論	2後	2			1		2			
	母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1	
	精神看護学概論	2前	1			1					
	精神看護学方法論	2後	2			1		2			
	精神看護学演習	3前	1			1		2			
在宅・地域看護学	地域看護学Ⅰ	1前	1			1					
	地域看護学Ⅱ	3前	2					1			
	地域看護学方法論	3前	1					1			
	地域看護学展開論	3前	1					1	1		
	在宅看護学概論	2前	1			1					
	在宅看護学方法論	2後	2			1			1		
	在宅看護学演習	3前	1			1		2	2	1	
	災害ケア論	1前	1			1					1
	国際看護学	2前	1			1			1		
	看護研究入門	2前	1			1					
看護の統合と実践	医療安全論	2後	1			1					5
	緩和ケア論	2後	1			1					
	看護政策論	4前	1			1					
	看護管理学	4前	1			1					
	看護研究	4前	1			7	3	9	2		
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1			3	1	4	5	2	
	基礎看護学実習Ⅱ	2後	2			2	1	4	7	1	
	成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2		
	成人看護学急性期実習	3後	3				1	2	2	1	
	老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1	
小児看護学実習	3後～4前	2			1		1	1	1		
母性看護学実習	3後～4前	2			1		2	1	1		
精神看護学実習	3後～4前	2			1		2	2	1		
在宅看護学実習	3後～4前	2			1		2	2	1		
統合看護実習	4後	2			6	2	9	11	5		
小計(49科目)	-	73	0	0	7	3	9	11	5	6	
発展科目	医療情報論	3・4前	1								1
	先端医療論	3・4前	1								7
	災害医療論	3・4前	1								1
	家族ケア論	4前	1			1					
	看護教育論	4前	1								1
	メンタルヘルスクエア論	4前	1			1					
小計(6科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	10	
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前	1			1					
	公衆衛生看護学方法論	3後	2			1		3	2	1	2
	公衆衛生看護学展開論	3後	2			1		2	2	1	1
	公衆衛生看護学管理論Ⅰ	4前	2			1		2	2	1	
	公衆衛生看護学管理論Ⅱ	4前	1			1					
	公衆衛生看護学実習	4後	3			1		2	2	1	
	日本国憲法	2後	2								1
小計(7科目)	-	0	13	0	1	0	3	2	1	4	
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前	2			1					
	助産診断技術学Ⅰ	3後	1			1		1			
	助産診断技術学Ⅱ	3後	2			1		1			
	助産診断技術学Ⅲ	3後	1			1		2			
	助産診断技術学Ⅳ	4前	2			1		2	1	1	
	助産診断技術学Ⅴ	4後	2			1		2			
	地域母子保健	4後	1			1		2			
	助産管理学	4後	1			1					
	助産学実習Ⅰ	4後	2			1		2	1		
	助産学実習Ⅱ	4後	8			1		2	1	1	
小計(10科目)	-	0	22	0	1	0	2	1	1	0	
自由科目	看護研究実践演習	4後			1	7	2	9			
	地域医療課題解決演習	1～4週			1						3
小計(2科目)	-	0	0	2	7	2	9	0	0	3	
合計(125科目)	-	118	63	2	7	3	10	11	5	118	
卒業要件及び履修方法											
「教養教育科目群」から23単位(必修19単位、選択4単位)、「専門科目群」から101単位以上(必修99単位、選択2単位以上)、合計124単位以上を取得すること。 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて137単位以上を取得すること。 助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて146単位以上を取得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
I P E 関連科目	多職種連携のための アカデミックリテラシー	1通	2									25
	チーム医療リテラシー	3前	1			3						14
	4学部合同セミナー	4前	1			7	1					20
	小計 (3科目)	-	4	0	0	7	1	0	0	0		53
教養教育科目群	医療における社会・行動科学	1前	1									1
	基礎自然科学	1前	1				1					1
	情報科学	1前	2									1
	健康運動科学	1前	2									4
	社会福祉	1前	1									1
	心理学	1前	1									1
	医療面接の基礎	1後	1									2
	生命倫理学	1後	1									1
	English Speaking & Listening	1後	1									4
	English Reading & Writing	1通	3									3
	医療英語	2前	1									2
	ベーシック生物	1前		1								3
	スタンダード生物	1前		1								3
	アドバンスト生物	1前		1								9
	自然・文化人類学	1前		1								6
	ベーシック化学	1前		1								1
	ベーシック物理	1前		1								3
	解析学入門	1前		1								1
	医療とスポーツ	1前		1								5
	文学の世界	1前		1								1
	道徳のしくみ	1前		1								1
	ベーシック数学	1前		1								2
	アドバンスト化学	1前		1								1
	医療とコミュニケーション	1前		1								4
	実践英語	1前		1								1
	医療と福祉	1前				1	1	1				9
	科学英語	1後										1
	英語学	1後										1
	医療と物語	1後										5
	人間関係論	1後										2
	パーソナリティ心理学	1後										1
	哲学の世界	1後										1
	医療と法律	1後										1
小計 (33科目)	-	15	22	0	1	2	1	0	0		50	
専門科目群	栄養学	1後	1			1						
	生化学	1後	2				1					
	感染免疫学	1後	2					1				
	基礎解剖学	1通	2									1
	基礎生理学	1通	2									1
	病理学概論	1後	1									1
	薬理学	2前	2				1	1				
	臨床心理学	2前	1									1
	疾病論 I	2前	2			1						
	疾病論 II	2前	2									8
	疾病論 III	2後	2									8
	疾病論 IV	2後	2									5
	医学・医療入門	1前	1			2	1	1				3
	公衆衛生学・疫学	3前	2									1
	保健統計学	3前	2									1
小計 (15科目)	-	26	0	0	2	2	2	0	0		29	
看護専門科目群	看護学概論	1前	2			3	2					
	看護倫理学	3前	1			1		1				
	基礎看護学 I	1前	1			1		1	5			
	基礎看護学 II	1後	1			1		1	5			
	基礎看護学 III	1後	1			1		1	5			
	基礎看護学 IV	1後	2			1						
	基礎看護学 V	2前	2			1		1	5			
	成人看護学概論	2前	1				1	1				
	成人看護方法論 I	2前	2					1	1			
	成人看護方法論 II	2前	2				1					
成人看護学演習 I	2前	1					1	2	1			
成人看護学演習 II	3前	1				1		2	1			

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
看護専門科目	老年看護学概論	2前	1				1					
	老年看護学方法論	2後	2				1					
	老年看護学演習	3前	1				1		1	1		
	小児看護学概論	2前	1			1						
	小児看護学方法論	2後	2			1		1				
	小児看護学演習	3前	1			1		1		1		
	母性看護学概論	2前	1			1						
	母性看護学方法論	2後	2			1		2				
	母性看護学演習	3前	1			1		2	1	1		
	精神看護学概論	2前	1			1						
	精神看護学方法論	2後	2			1		2				
	精神看護学演習	3前	1			1		2				
	在宅・地域看護学 I	1前	1			1						
	在宅・地域看護学 II	3前	2			1						
	在宅・地域看護学方法論	3前	1			1		1				
	在宅・地域看護学展開論	3前	1			1		1	1			
	在宅看護学概論	2前	1			1						
	在宅看護学方法論	2後	2			2		1	1			
在宅看護学演習	3前	1			1		2	2	1			
看護専門科目	災害ケア論	1前	1			1						1
	国際看護学	2前	1			1			1			
	看護研究入門	2前	1			1						
	医療安全論	2後	1			1						
	緩和ケア論	2後	1			1						1
	看護政策論	4前	1			1						
	看護管理学	4前	1			1						
	看護研究	4前	1			7	3	9	2			
	基礎看護学実習 I	1後	1			3	1	4	5	2		
	基礎看護学実習 II	2後	2			1	1	2	7	1		
成人看護学慢性期・回復期実習	3後	3					1	2				
成人看護学急性期実習	3後	3				1		2	1			
老年看護学実習	3後～4前	4				1		1	1			
小児看護学実習	3後～4前	2			1		1	1	1			
母性看護学実習	3後～4前	2			1		2	1	1			
精神看護学実習	3後～4前	2			1		2					
在宅看護学実習	3後～4前	2			1		2	2	1			
統合看護学実習	4後	2			6	2	9	11	5			
小計 (49科目)	-	73	0	0	7	3	9	11	5	2		
発展科目	医療情報論	3・4前		1								1
	先端医療論	3・4前		1								7
	災害医療論	3・4前		1								1
	家族ケア論	4前		1		1						
	看護教育論	4前		1								1
	メンタルヘルスケア論	4前		1		1						
小計 (6科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	10	
公衆衛生看護学関連科目群	保健医療福祉行政論	3前		1		1						
	公衆衛生看護学方法論	3後		2		1		3	2	1	2	
	公衆衛生看護学展開論	3後		2		1		2	2	1	1	
	公衆衛生看護学管理論 I	4前		2		1		2	2	1		
	公衆衛生看護学管理論 II	4前		1		1						
	公衆衛生看護学実習	4後		3		1		2	2	1		
	日本国憲法	2後		2								1
小計 (7科目)	-	0	13	0	1	0	3	2	1	4		
助産看護学関連科目群	助産学概論	3前		2		1						
	助産診断技術学 I	3後		1		1		1				
	助産診断技術学 II	3後		2		1		1				
	助産診断技術学 III	3後		1		1		2				
	助産診断技術学 IV	4前		2		1		2	1	1		
	助産診断技術学 V	4後		2		1		2				
	地域母子保健	4後		1		1		2				
	助産管理学	4後		1		1						
	助産学実習 I	4後		2		1		2	1			
	助産学実習 II	4後		8		1		2	1	1		
小計 (10科目)	-	0	22	0	1	0	2	1	1	0		
自由科目	看護研究実践演習	4後		0	0	1	7	2	9	0	0	0
	小計 (1科目)	-	0	0	1	7	2	9	0	0	0	
合計 (124科目)		-	118	63	1	7	3	10	11	5	109	

卒業要件及び履修方法

「教養教育科目群」から23単位（必修19単位、選択4単位）、「専門科目群」から101単位以上（必修99単位、選択2単位以上）、合計124単位以上を取得すること。
 保健師国家試験受験資格取得のためには、「公衆衛生看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて137単位以上を取得すること。
 助産師国家試験受験資格取得のためには、「助産看護学関連科目群」の全科目を履修し、卒業要件単位と合わせて140単位以上を取得すること。
 （履修科目の登録の上限：45単位（年間））

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・ 教育内容充実のため兼任教員5名を追加したことに伴い、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の教員配置を「兼任・兼任20」から「兼任・兼任25」に変更。
- ・ 兼任教員1名退職による就任辞退に伴い、「チーム医療リテラシー」の教員配置を「兼任・兼任15」から「兼任・兼任14」へ、「4学部合同セミナー」の教員配置を「兼任・兼任21」から「兼任・兼任20」へそれぞれ変更(科目開講時までに後任教員を補充予定)。
- ・ 兼任教員1名退職による就任辞退に伴い、「疾病論Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更(科目開講時までに後任教員を補充予定)。
- ・ 留意事項3への対応に伴い、科目区分「在宅看護学」の名称を「在宅・地域看護学」に変更。
- ・ 留意事項4への対応に伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」の単位数を「2」から「1」へ、「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数を「1」から「2」へそれぞれ変更。

【平成30年度】

- ・ 教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「アドバンスト生物」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 授業運営上の都合により兼任教員1名を追加したことに伴い、「自然・文化人類学」の教員配置を「兼任・兼任6」から「兼任・兼任7」に変更。
- ・ 兼任教員1名就任辞退に伴い、「医療とコミュニケーション」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。なお、共同担当者である兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
- ・ 教育内容の充実のため兼任教員2名を追加したことに伴い、「病理学概論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 教育内容の充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「臨床心理学」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・ 兼任教員退職による後任教員の補充として兼任教員1名を追加したことに伴い、「疾病論Ⅲ」の教員配置を「兼任・兼任8」から「兼任・兼任9」に変更(平成29年度から1名追加)。
- ・ 教育内容の充実のため兼任教員4名を追加したことに伴い、「緩和ケア論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 留意事項6への対応に伴い、教員の補充を必要とされた「看護研究」に専任教員1名(教授)を配置(平成29年8月教員審査済み)。なお、当該教員は、設置時の計画より同科目を担当することとしていたため、専任教員等の配置人数は変更なし。
- ・ 留意事項4への対応に伴い、指導体制の充実を図るため、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」、「講師2」から「講師4」にそれぞれ変更(平成29年8月教員審査済み)。
- ・ 教育課程の充実を図るため、新規科目として「地域医療課題解決演習」(科目区分:自由科目、配当年次:1~4通、単位数:1(自由)、教員配置:兼任・兼任3)を追加(学則変更の届出を提出済み)。

【令和元年度】

- ・ 兼任教員1名退職による就任辞退および教育内容充実のため兼任教員29名を追加したことに伴い、「チーム医療リテラシー」の教員配置を「兼任・兼任14」から「兼任・兼任42」に変更。
- ・ 専任教員1名の新規採用に伴い、「4学部合同セミナー」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「ベーシック生物」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「スタンダード生物」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 兼任教員2名就任辞退に伴い、「医療とスポーツ」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任3」に変更。なお、共同担当者である兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
- ・ 兼任教員1名退職による就任辞退および教育内容充実のため兼任教員1名および兼任教員2名を追加したことに伴い、「医療とコミュニケーション」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任5」に変更。
- ・ 兼任教員1名の退職による就任辞退および兼任教員2名の就任辞退のため兼任教員4名を追加したことに伴い、「医療と福祉」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任10」に変更。
- ・ 教育内容充実のため兼任教員3名および兼任教員4名を追加したことに伴い、「医療と物語」の教員配置を「兼任・兼任5」から「兼任・兼任12」に変更。
- ・ 教育内容充実のため兼任教員1名および兼任教員1名を追加したことに伴い、「パーソナリティ心理学」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「医学・医療入門」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
- ・ 専任教員の新規採用に伴い、「地域看護学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更(平成30年12月教員審査済み)。
- ・ 専任教員の新規採用に伴い、「地域看護学方法論」の専任教員等の配置を「教授1、講師1」から「講師2」に変更(平成30年12月教員審査済み)。
- ・ 科目担当の見直しに伴い、「地域看護学展開論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更(後任の担当教員は、平成30年12月に教員審査済み)。
- ・ 専任教員の所属異動および専任教員の新規採用に伴い、「在宅看護学方法論」の専任教員等の配置を「講師1」から「教授1」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 専任教員の新規採用に伴い、「在宅看護学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 専任教員の新規採用に伴い、「看護研究」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 専任教員の所属異動および科目担当の見直しに伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師4、助教5」から「講師3、助教6」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 専任教員の新規採用に伴い、「在宅看護学実習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 専任教員の新規採用に伴い、「統合看護実習」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 教育内容充実のため兼任教員2名を追加したことに伴い、「災害医療論」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任3」に変更。
- ・ 留意事項5への対応に伴い、「公衆衛生看護方法論」、「公衆衛生看護展開論」、「公衆衛生看護管理論Ⅰ」、「助産学概論」、「助産診断技術学Ⅱ」、「助産診断技術学Ⅴ」の単位数をそれぞれ「2」から「1」へ変更(看護師学校等変更承認申請書(平成30年8月承認)および学則変更の届出(平成31年3月届出)を提出済み)。併せて、「卒業要件及び履修方法」における保健師国家試験受験資格取得に係る単位数を137単位から134単位に、助産師国家試験受験資格取得に係る単位数を146単位から143単位にそれぞれ変更。
- ・ 留意事項5への対応に伴い、「公衆衛生看護方法論」の専任教員等の配置を「教授1、講師3、兼任・兼任2」から「教授2、講師2、兼任・兼任3」にそれぞれ変更(平成30年8月および平成30年12月教員審査済み)。
- ・ 留意事項5への対応に伴い、「公衆衛生看護展開論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 留意事項5への対応に伴い、「公衆衛生看護管理論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 学生負担の軽減を図るため開講時期を見直したことに伴い、「助産診断技術学Ⅴ」の配当年次を「4後」から「4前」に変更(看護師学校等変更届出書(平成31年3月届出)を提出済み)。
- ・ 専任教員の新規採用に伴い、「看護研究実践演習」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更(平成30年8月教員審査済み)。
- ・ 教育内容充実のため兼任教員6名を追加したことに伴い、「地域医療課題解決演習」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任9」に変更。

【令和2年度】

・兼任教員1名の退職による就任辞退および担当教員の見直しに伴い、「チーム医療リテラシー」の教員配置を「兼任・兼任42」から「兼任・兼任43」に変更。
 ・専任教員1名の退職による就任辞退および担当教員の見直しに伴い、「4学部共同セミナー」の教員配置を「教授8」から「教授7」へ、「兼任・兼任20」から「兼任・兼任70」にそれぞれ変更。
 ・教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「情報科学」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 ・教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「健康運動科学」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任5」に変更。
 ・担当教員の見直しにより、「ベーシック生物」の教員配置を「兼任・兼任4」から「兼任・兼任3」に変更。なお、共同担当者である兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
 ・兼任教員1名退職による就任辞退により、「ベーシック物理」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任2」に変更。なお、共同担当者である兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
 ・教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「医療とスポーツ」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
 ・専任教員1名の退職による就任辞退に伴い、「医療と福祉」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。なお、共同担当者である兼任教員および兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
 ・兼任教員1名の退職ならびに兼任教員1名の就任辞退に伴い、「医療と物語」の教員配置を「兼任・兼任12」から「兼任・兼任10」に変更。なお、共同担当者である兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
 ・教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「保健統計学」の教員配置を「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
 ・専任教員1名の退職による就任辞退に伴い、「在宅看護学演習」、「在宅看護学実習」、「公衆衛生看護方法論」、「公衆衛生看護展開論」、「公衆衛生看護管理理論Ⅰ」、「公衆衛生看護学実習」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に、「看護研究」、「統合看護実習」、「看護研究実践演習」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。なお、共同担当者である専任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。
 ・専任教員1名の退職による就任辞退に伴い、「看護政策論」の教員配置を「教授1」から「兼任・兼任1」に変更。なお、退職した当該教員が非常勤講師として授業を行うため、授業運営上の支障はない。
 ・教育内容充実のため兼任教員1名を追加したことに伴い、「災害医療論」の教員配置を「兼任・兼任3」から「兼任・兼任4」に変更。
 ・担当教員の見直しにより、「在宅看護方法論」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更（令和2年2月教員審査済み）。
 ・助手1名の新規採用に伴い、「基礎看護学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助手2」から「助手3」に、「基礎看護学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助手1」から「助手2」に、「統合看護実習」の専任教員等の配置を「助手5」から「助手6」にそれぞれ変更。
 ・担当教員の見直しにより、「公衆衛生看護管理理論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更（令和2年2月教員審査済み）。
 ・担当教員の見直しにより、「地域医療課題解決演習」の教員配置を「兼任・兼任9」から「兼任・兼任8」に変更。なお、共同担当者である兼任教員が担当するため、授業運営上の支障はない。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
78 科目	45 科目	1 科目	124 科目	78 科目 []	45 科目 []	2 科目 [1]	125 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 「該当なし」

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
「該当なし」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{124} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	矢巾キャンパス総合移 転整備事業用地開発行 為同意の条件のとお り、町道の拡幅工事 に係る道路用地を矢巾町 へ帰属(29) 分筆に伴う土地面積の 増加(30) 地積更正に伴う面積減 少、附属花巻温泉病院 閉院に伴う「その他」 への区分変更、駐車場 整備に伴う「その他」 への区分変更(元) 附属病院移転、花巻温 泉病院宿舍跡地の売却 等に伴う校舎敷地面積 の減少(2)					
	校 舎 敷 地	149,088.75 m ² 380,536.23 390,917.79 m ² 390,917.78 m ² 399,834.21 m ²	0 m ²	0 m ²	149,088.75 m ² 380,536.23 390,917.79 m ² 390,917.78 m ² 399,834.21 m ²						
	運 動 場 用 地	92,313.78 m ²	0 m ²	0 m ²	92,313.78 m ²						
	小 計	241,402.53 m ² 472,850.01 483,231.57 m ² 483,231.56 m ² 492,147.99 m ²	0 m ²	0 m ²	241,402.53 m ² 472,850.01 483,231.57 m ² 483,231.56 m ² 492,147.99 m ²						
	そ の 他	292,587.38 m ² 64,226.74 53,845.45 m ²	0 m ²	0 m ²	292,587.38 m ² 64,226.74 53,845.45 m ²						
	合 計	533,989.91 m ² 537,076.75 537,077.02 m ² 537,077.01 m ² 545,993.44 m ²	0 m ²	0 m ²	533,989.91 m ² 537,076.75 537,077.02 m ² 537,077.01 m ² 545,993.44 m ²						
(2) 校 舎	専 用	120,028.47 m ² 118,532.62 (120,028.47 m ²) (118,532.62 m ²)	0 m ²	0 m ²	120,028.47 m ² 118,532.62 (120,028.47 m ²) (118,532.62 m ²)	附属病院移転に伴う校 舎面積の増加(2)					
	共 用	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)						
(3) 教 室 等	講 義 室	30 室 28 室	演 習 室	134 室 74 室	実 験 実 習 室	33 室	情 報 処 理 学 習 施 設	2 室 (補助職員 0 人)	語 学 学 習 施 設	0 室 (補助職員 0 人)	附属病院移転に伴う講 義室および演習室の増 加(2)
	新設学部等の名称	室 数				一部共同部屋					
(4) 専任教員研究室	看護学部 看護学科		23 室				一部共同部屋				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	図書・設備の段階的 整備による増加ならび に教育研究の充実のため 図書・学術雑誌・視聴 覚資料の増加(30) 図書・視聴覚資料の段 階的整備ならびに教育 の充実のため増加、電 子ジャーナル掲載タイ トル数の増加(元) 図書・学術雑誌・視聴 覚資料の増加、学術雑 誌の冊子体から電子 ジャーナルへの形態変 更(2)			
	看護学部	2,954 249 2,581 247 2,556 [241] (2,954) (2,581 [249]) (2,075 [247]) (1,256 [101])	119 116 109 105 [14] (119) (116) (109) (105 [14])	79 77 [14] 73 [13] (79) (77 [14]) (73 [13])	167 158 110 54 (167) (158) (110) (14)	5,128 (5,128) (3,213)	15 (15) (8)				
	計	2,954 249 2,581 247 2,556 [241] (2,954) (2,581 [249]) (2,075 [247]) (1,256 [101])	119 116 109 105 [14] (119) (116) (109) (105 [14])	79 77 [14] 73 [13] (79) (77 [14]) (73 [13])	167 158 110 54 (167) (158) (110) (14)	5,128 (5,128) (3,213)	15 (15) (8)				
	面 積	5,112.38 m ²		閱 覧 座 席 数	459 457	収 納 可 能 冊 数			277,972	閱覧席の増加(29)	
(7) 体 育 館	面 積	5,513.56 m ²				体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要		大学全体			
	野球場2面、サッカー・ラグビー場2面、テニスコート12面										
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	学生納付金以外の維持方法の概要			
	教員1人当り研究費等	282千円	282千円	図書購入費	13,894千円	11,127千円	14,109千円				
	共同研究費等	10,848千円	10,848千円	設備購入費	123,833千円	67,715千円	1,000千円				
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,650千円	第2年次 1,400千円	第3年次 1,400千円	第4年次 1,400千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円				

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		岩手医科大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	歯学部募集定員57名 (定員超過率0.89倍)
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
看護学部 看護学科	4	90	3年次 5	370	学士 (看護学)	1.02	—	平成29	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
医学部 医学科	6	123	3年次 7	766	学士 (医学)	0.99	—	昭和23	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
歯学部 歯学科	6	73	—	438	学士 (歯学)	0.70	—	昭和40	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
薬学部 薬学科	6	120	—	880	学士 (薬学)	0.78	—	平成19	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
大学全体	—	406	12	2,454	—	0.87	—	—	—	
大学の名称		岩手医科大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍	年度	年度		
医学研究科 生理系専攻	4	6	—	24	博士 (医学)	0.16	—	昭和35	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
病理系専攻	4	3	—	12	博士 (医学)	0.66	—	昭和35	同上	
社会医学系専攻	4	2	—	8	博士 (医学)	4.37	—	昭和35	同上	
内科系専攻	4	20	—	80	博士 (医学)	0.46	—	昭和35	同上	
外科系専攻	4	19	—	76	博士 (医学)	0.69	—	昭和35	同上	
医科学専攻	2	10	—	20	修士 (医科学)	0.35	—	平成16	同上	
歯学研究科 歯学専攻	4	18	—	72	博士 (歯学)	0.45	—	昭和58	岩手県盛岡市中央通1-3-27	
薬学研究科 医療薬学専攻	4	3	—	12	博士 (薬学)	0.91	—	平成25	岩手県紫波郡矢巾町医大通1-1-1	
薬科学専攻	2	3	—	6	修士 (薬科学)	0.16	—	平成25	同上	
大学院全体	—	84	—	310	—	0.91	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学部 看護学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	嶋森 好子 <平成29年4月> 学士(教養)	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習	専	教授	嶋森 好子 <平成29年4月> 学士(教養)	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習	専	教授	嶋森 好子 <平成29年4月> 学士(教養)	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習	専	教授	嶋森 好子 <平成29年4月> 学士(教養)	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※ 看護倫理学 ※ 医療安全論 看護管理学 看護研究 ※ 統合看護実習 看護研究実践演習
専	教授	三浦 まゆみ <平成29年4月> 修士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習	専	教授	三浦 まゆみ <平成29年4月> 修士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習	専	教授	三浦 まゆみ <平成29年4月> 修士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習	専	教授	三浦 まゆみ <平成29年4月> 修士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 基礎看護学Ⅰ ※ 基礎看護学Ⅱ ※ 基礎看護学Ⅳ ※ 基礎看護学Ⅴ ※ 災害ケア論 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 統合看護実習 家族ケア論 看護研究実践演習
専	教授	末安 民生 <平成29年4月> 修士(医療福祉学)	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習	専	教授	末安 民生 <平成29年4月> 修士(医療福祉学)	チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 精神看護学概論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習	専	教授	末安 民生 <平成29年4月> 修士(医療福祉学)	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 精神看護学概論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習	専	教授	末安 民生 <平成29年4月> 修士(医療福祉学)	チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 精神看護学概論 ※ 精神看護学演習 看護研究 ※ 精神看護学実習 統合看護実習 メンタルヘルスクエア論 看護研究実践演習
専	教授	野村 陽子 <平成29年4月> 博士(政治学)	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習	専	教授	野村 陽子 <平成29年4月> 博士(政治学)	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習	専	教授	野村 陽子 <平成29年4月> 博士(政治学)	4学部合同セミナー 医療と福祉 ※ 地域看護学Ⅰ 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学概論 在宅看護学演習 看護政策論 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅱ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習	兼任	講師	野村 陽子 <令和2年4月> 博士(政治学)	看護政策論
専	教授	高橋 亮 <平成29年4月> 博士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 ※ 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習	専	教授	高橋 亮 <平成29年4月> 博士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 ※ 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習	専	教授	高橋 亮 <平成29年4月> 博士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 ※ 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習	専	教授	高橋 亮 <平成29年4月> 博士(学術)	4学部合同セミナー 看護学概論 ※ 小児看護学概論 ※ 小児看護学方法論 ※ 小児看護学演習 国際看護学 ※ 看護研究入門 看護研究 ※ 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 小児看護学実習 統合看護実習 看護研究実践演習

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等		<就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	遊田 由希子 <平成29年4月> 修士(看護学)	専	遊田 由希子 <平成29年4月> 修士(看護学)	専	遊田 由希子 <平成29年4月> 修士(看護学)	専	遊田 由希子 <平成29年4月> 修士(看護学)
		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習
専	講師	西里 真澄 <令和2年4月> 修士(看護学)	専	西里 真澄 <令和2年4月> 修士(看護学)	専	西里 真澄 <令和2年4月> 修士(看護学)	専	西里 真澄 <令和2年4月> 修士(看護学)
		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 I ※ 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 I ※ 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 I ※ 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習		母性看護方法論 ※ 母性看護学演習 ※ 看護研究 ※ 母性看護学実習 統合看護学実習 助産診断技術学 I ※ 助産診断技術学 II ※ 助産診断技術学 III ※ 助産診断技術学 IV ※ 助産診断技術学 V ※ 地域母子保健 ※ 助産学実習 I 助産学実習 II 看護研究実践演習
兼任	講師	西里 真澄 <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	西里 真澄 <平成30年4月> 修士(看護学)	兼任	講師	西里 真澄 <平成30年4月> 修士(看護学)
専	講師	一ノ渡 学 <平成29年4月> 博士(薬学)	専	講師	一ノ渡 学 <平成29年4月> 博士(薬学)	専	講師	一ノ渡 学 <平成29年4月> 博士(薬学)
		感染症免疫学 薬理学 ※			感染症免疫学 薬理学 ※			感染症免疫学 薬理学 ※
専	助教	横田 真理子 <平成30年4月> 修士(看護学)	専	助教	横田 真理子 <平成30年4月> 修士(看護学)	専	助教	横田 真理子 <平成30年4月> 修士(看護学)
		成人看護方法論 I ※ 成人看護学演習 I ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 II 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護学実習			成人看護方法論 I ※ 成人看護学演習 I ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 II 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護学実習			成人看護方法論 I ※ 成人看護学演習 I ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 II 成人看護学慢性期・回復期実習 統合看護学実習
専	助教	小松 恵 <平成29年4月> 修士(看護学)	専	助教	小松 恵 <平成29年4月> 修士(看護学)	専	助教	小松 恵 <平成29年4月> 修士(看護学)
		基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 成人看護学演習 II 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護学急性期実習 統合看護学実習			基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 成人看護学演習 II 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護学急性期実習 統合看護学実習			基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 成人看護学演習 II 国際看護学 ※ 看護研究 ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 成人看護学急性期実習 統合看護学実習
専	助教	小林 由美子 <平成29年4月> 学士(教養)	専	助教	小林 由美子 <平成29年4月> 学士(教養)	専	助教	小林 由美子 <平成29年4月> 学士(医科学)
		基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護学実習			基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護学実習			基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護学実習
専	助教	野里 同 <平成29年4月> 修士(看護学)	専	助教	野里 同 <平成29年4月> 修士(看護学)	専	助教	野里 同 <平成29年4月> 博士(看護学)
		基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護学実習			基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護学実習			基礎看護学 I ※ 基礎看護学 II ※ 基礎看護学 III ※ 基礎看護学 V ※ 基礎看護学実習 I 基礎看護学実習 II 統合看護学実習

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	高橋 淳美 ＜平成31年4月＞ 準学士(看護学) 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼任	教授	寺山 靖夫 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山 靖夫 ＜平成31年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 ＜令和2年4月＞ 医学博士 4学部合同セミナー
兼任	教授	土井田 稔 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	杉山 徹 ＜平成29年4月＞ 医学博士 医学・医療入門 ※
兼任	講師	杉山 徹 ＜平成30年4月＞ 医学博士 医学・医療入門 ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	高橋 淳美 ＜平成31年4月＞ 修士(看護学) 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼任	教授	寺山 靖夫 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山 靖夫 ＜平成31年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 ＜令和2年4月＞ 医学博士 4学部合同セミナー
兼任	教授	土井田 稔 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	杉山 徹 ＜平成29年4月＞ 医学博士 医学・医療入門 ※
兼任	講師	杉山 徹 ＜平成30年4月＞ 医学博士 医学・医療入門 ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	高橋 淳美 ＜平成31年4月＞ 修士(看護学) 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
兼任	教授	寺山 靖夫 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅳ ※
兼任	講師	寺山 靖夫 ＜平成31年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 ＜平成30年4月＞ 医学博士 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼任	教授	土井田 稔 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	高橋 淳美 ＜平成31年4月＞ 修士(看護学) 母性看護学演習 ※ 母性看護学実習
専	教授	宮本 郁子 ＜平成30年9月＞ 修士(政治学) 4学部合同セミナー 在宅看護学概論 在宅看護学概論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護概論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	講師	岩淵 光子 ＜平成31年4月＞ 修士(看護学) 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
兼任	講師	工藤 雅子 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 ＜平成30年4月＞ 医学博士 4学部合同セミナー 医学・医療入門 ※
兼任	教授	土井田 稔 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
専	教授	宮本 郁子 ＜平成30年9月＞ 修士(政治学) 4学部合同セミナー 地域看護学Ⅰ 在宅看護学概論 在宅看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 保健医療福祉行政論 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
専	講師	岩淵 光子 ＜平成31年4月＞ 修士(看護学) 地域看護学Ⅱ 地域看護学方法論 ※ 地域看護学展開論 ※ 在宅看護学方法論 ※ 在宅看護学演習 看護研究 ※ 在宅看護学実習 統合看護実習 公衆衛生看護方法論 ※ 公衆衛生看護展開論 ※ 公衆衛生看護管理論Ⅰ 公衆衛生看護学実習 看護研究実践演習
兼任	講師	工藤 雅子 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅳ ※
兼任	教授	佐々木 章 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※ 先端医療論 ※
兼任	教授	小笠原 邦昭 ＜平成30年4月＞ 医学博士 医学・医療入門 ※
兼任	教授	土井田 稔 ＜平成30年4月＞ 医学博士 疾病論Ⅲ ※
兼任	教授	佐藤 宏昭 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 文学修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道德のしくみ 哲学の世界
兼任	教授	平林 香織 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 理学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンス生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 工学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 博士(理学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ TESOL修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	准教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論
兼任	准教授	高橋 和宏 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 文学修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道德のしくみ 哲学の世界
兼任	教授	平林 香織 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 理学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンス生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 工学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 博士(理学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ TESOL修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	准教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 文学修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道德のしくみ 哲学の世界
兼任	教授	平林 香織 ＜平成29年4月＞ 博士(文学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー チーム医療リテラシー 文学の世界 医療とコミュニケーション ※ 医療と福祉 ※ 医療と物語 ※
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 理学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンス生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 工学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 博士(理学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ TESOL修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	准教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー 医療と物語 ※ 緩和ケア論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 文学修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道德のしくみ 哲学の世界 チーム医療リテラシー ※
兼任	講師	平林 香織 ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 医療と物語 ※
兼任	教授	高橋 史朗 ＜平成31年4月＞ 博士(臨床統計学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 理学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンス生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 工学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 博士(理学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ TESOL修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー ※ 医療と物語 ※ 緩和ケア論 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 寿一 ＜平成29年4月＞ 文学修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 生命倫理学 道德のしくみ 哲学の世界 チーム医療リテラシー ※
兼任	講師	平林 香織 ＜平成31年4月＞ 博士(文学) 医療と物語 ※
兼任	教授	高橋 史朗 ＜平成31年4月＞ 博士(臨床統計学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー
兼任	教授	松政 正俊 ＜平成29年4月＞ 理学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンス生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	教授	江尻 正一 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 情報科学 ベーシック数学 チーム医療リテラシー ※
兼任	教授	佐藤 英一 ＜平成29年4月＞ 工学博士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック物理 ※
兼任	教授	中島 理 ＜平成29年4月＞ 博士(理学) 多職種連携のためのアカデミックリテラシー ベーシック化学
兼任	教授	ジェイムズ・ホプス ＜平成29年4月＞ TESOL修士 多職種連携のためのアカデミックリテラシー 医療英語
兼任	教授	吉岡 邦浩 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 先端医療論 ※
兼任	准教授	木村 祐輔 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー ※ 医療と物語 ※ 緩和ケア論 ※

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) アドバンスト生物 ※	兼任	教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) アドバンスト生物 ※	兼任	教授	天野 博雄 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※	兼任	教授	天野 博雄 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※	兼任	教授	天野 博雄 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※
兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 基礎生理学	兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 基礎生理学	兼任	准教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) アドバンスト生物 ※	兼任	教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) アドバンスト生物 ※ チーム医療リテラシー ※	兼任	教授	奈良場 博昭 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) アドバンスト生物 ※ チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー
兼任	准教授	水野 大 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※	兼任	准教授	水野 大 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※	兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 基礎生理学	兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 基礎生理学	兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 基礎生理学
兼任	准教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※	兼任	准教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※	兼任	教授	天野 博雄 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※	兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 基礎生理学	兼任	准教授	木村 眞吾 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 基礎生理学
兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	水野 大 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※	兼任	准教授	水野 大 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※	兼任	助教	小林 めぐみ ＜平成31年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※
兼任	准教授	田島 克巳 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	田島 克巳 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※	兼任	教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※ チーム医療リテラシー ※	兼任	教授	肥田 圭介 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅱ ※ チーム医療リテラシー ※
兼任	准教授	鈴木 啓二朗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	鈴木 啓二朗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	遠藤 幹也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	平海 晴一 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	平海 晴一 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	田島 克巳 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	教授	田島 克巳 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	教授	田島 克巳 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー チーム医療リテラシー ※
兼任	准教授	小山 理恵 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	小山 理恵 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	鈴木 啓二朗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	鈴木 啓二朗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	鈴木 啓二朗 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー
兼任	准教授	久慈 昭慶 ＜平成30年4月＞ 歯学博士 疾病論Ⅲ ※	兼任	准教授	久慈 昭慶 ＜平成30年4月＞ 歯学博士 疾病論Ⅲ ※	兼任	准教授	平海 晴一 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	平海 晴一 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー	兼任	准教授	平海 晴一 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー
兼任	講師	久慈 昭慶 ＜平成31年4月＞ 歯学博士 疾病論Ⅲ ※	兼任	講師	久慈 昭慶 ＜平成31年4月＞ 歯学博士 疾病論Ⅲ ※	兼任	講師	小山 理恵 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	小山 理恵 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※	兼任	准教授	小山 理恵 ＜平成30年4月＞ 博士(医学) 疾病論Ⅲ ※ 疾病論Ⅳ ※
兼任	准教授	藤原 尚樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 基礎解剖学	兼任	准教授	藤原 尚樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 基礎解剖学	兼任	准教授	久慈 昭慶 ＜平成30年4月＞ 歯学博士 疾病論Ⅲ ※	兼任	准教授	久慈 昭慶 ＜平成30年4月＞ 歯学博士 疾病論Ⅲ ※	兼任	教授	藤原 尚樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 基礎解剖学
兼任	准教授	相澤 文恵 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	兼任	准教授	相澤 文恵 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	兼任	教授	久慈 昭慶 ＜平成31年4月＞ 歯学博士 疾病論Ⅲ ※	兼任	教授	藤原 尚樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 基礎解剖学	兼任	教授	藤原 尚樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 基礎解剖学
兼任	准教授	相澤 文恵 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	兼任	准教授	相澤 文恵 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	兼任	教授	相澤 文恵 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	兼任	教授	相澤 文恵 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	兼任	教授	相澤 文恵 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	相澤 文恵 ＜平成31年4月＞ 博士(歯学)	
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動 科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	
兼任	准教授	小山 薫 ＜平成29年4月＞ 教育学士	
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※	
兼任	講師	田中 良一 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		先端医療論 ※	
兼任	講師	秋山 有史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	岩谷 岳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	大塚 幸喜 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	新田 浩幸 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	西塚 哲 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	吉田 研二 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅲ ※	
兼任	講師	高田 亮 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	本多 孝之 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	
		医療と福祉 ※	
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	
		チーム医療リテラシー	
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		チーム医療リテラシー	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	相澤 文恵 ＜平成31年4月＞ 博士(歯学)	
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー 医療における社会・行動 科学 医療面接の基礎 ※ 医療と福祉 ※ 人間関係論 ※ 保健統計学	
兼任	准教授	小山 薫 ＜平成29年4月＞ 教育学士	
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※	
兼任	講師	田中 良一 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		先端医療論 ※	
兼任	講師	秋山 有史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	岩谷 岳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	大塚 幸喜 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	新田 浩幸 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	准教授	西塚 哲 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	吉田 研二 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅲ ※	
兼任	講師	高田 亮 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	本多 孝之 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	
		医療と福祉 ※	
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	
		チーム医療リテラシー	
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		チーム医療リテラシー	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	小山 薫 ＜平成29年4月＞ 教育学士	
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※	
兼任	教授	田中 良一 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		先端医療論 ※	
兼任	講師	秋山 有史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	岩谷 岳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	大塚 幸喜 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	新田 浩幸 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	准教授	西塚 哲 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	吉田 研二 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅲ ※	
兼任	講師	高田 亮 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	本多 孝之 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	
		医療と福祉 ※	
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	
		チーム医療リテラシー	
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		チーム医療リテラシー	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	小山 薫 ＜平成29年4月＞ 教育学士	
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※	
兼任	教授	田中 良一 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		先端医療論 ※	
兼任	講師	秋山 有史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	岩谷 岳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	准教授	大塚 幸喜 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	准教授	新田 浩幸 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	准教授	西塚 哲 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	吉田 研二 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅲ ※	
兼任	講師	高田 亮 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー チーム医療リテラシー ※	
兼任	講師	本多 孝之 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	
		医療と福祉 ※	
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	
		チーム医療リテラシー ※	
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		チーム医療リテラシー ※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	小山 薫 ＜平成29年4月＞ 教育学士	
		多職種連携のためのアカデミック リテラシー 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※	
兼任	教授	田中 良一 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		先端医療論 ※	
兼任	講師	秋山 有史 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	岩谷 岳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	准教授	大塚 幸喜 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	教授	新田 浩幸 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※ 4学部合同セミナー	
兼任	准教授	西塚 哲 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅱ ※	
兼任	講師	吉田 研二 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)	
		疾病論Ⅲ ※ 4学部合同セミナー	
兼任	講師	高田 亮 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		チーム医療リテラシー ※	
兼任	講師	本多 孝之 ＜令和2年4月＞ 博士(医学)	
		4学部合同セミナー	
兼任	講師	八木 淳子 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	
		医療と福祉 ※	
兼任	講師	成田 欣弥 ＜平成31年4月＞ 博士(理学)	
		チーム医療リテラシー ※	
兼任	講師	田村 晴希 ＜平成31年4月＞ 博士(医学)	
		チーム医療リテラシー ※	

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ 博士(地球環境科学) アドバンスト生物 ※
兼任	講師	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	講師	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ 博士(薬学) チーム医療リテラシー
兼任	講師	佐藤 淳也 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー 4学部合同セミナー
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 修士(法学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 博士(バイオサイエンス) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	助教	相澤 純 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ 修士(看護学) チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) チーム医療リテラシー
兼任	助教	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 修士(英文学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	講師	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ 博士(地球環境科学) アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ 博士(薬学) チーム医療リテラシー
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 修士(法学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 博士(バイオサイエンス) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	助教	相澤 純 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ 修士(看護学) チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) チーム医療リテラシー
兼任	助教	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 修士(英文学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ 博士(地球環境科学) アドバンスト生物 ※
兼任	教授	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ 博士(薬学) チーム医療リテラシー
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 修士(法学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 博士(バイオサイエンス) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	助教	相澤 純 ＜令和2年4月＞ 博士(医学) 4学部合同セミナー
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ 修士(看護学) チーム医療リテラシー 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) チーム医療リテラシー
兼任	助教	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 修士(英文学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ 博士(地球環境科学) アドバンスト生物 ※
兼任	教授	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ 博士(薬学) チーム医療リテラシー ※ 地域医療課題解決演習 ※
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 修士(法学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法 チーム医療リテラシー ※
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 博士(バイオサイエンス) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー ※
兼任	助教	相澤 純 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ 修士(看護学) チーム医療リテラシー ※ 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) チーム医療リテラシー ※
兼任	助教	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 修士(英文学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語 パーソナリティ心理学 ※ 医療と物語 ※ チーム医療リテラシー ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等 担当授業科目名
兼任	准教授	帖佐 直幸 ＜平成29年4月＞ 博士(地球環境科学) アドバンスト生物 ※
兼任	教授	西谷 直之 ＜平成29年4月＞ 博士(薬学) 4学部合同セミナー アドバンスト生物 ※
兼任	准教授	松浦 誠 ＜平成31年4月＞ 博士(薬学) チーム医療リテラシー ※ 4学部合同セミナー 地域医療課題解決演習 ※
兼任	講師	廣瀬 清英 ＜平成29年4月＞ 修士(法学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー 医療と法律 日本国憲法 チーム医療リテラシー ※
兼任	講師	東尾 浩典 ＜平成29年4月＞ 博士(バイオサイエンス) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー アドバンスト化学
兼任	講師	三枝 聖 ＜平成29年4月＞ 博士(医学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー ベーシック生物 ※ スタンダード生物 ※ アドバンスト生物 ※
兼任	講師	小松 真 ＜平成29年4月＞ 博士(工学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー チーム医療リテラシー ※
兼任	助教	相澤 純 ＜平成31年4月＞ 博士(医学) チーム医療リテラシー ※
兼任	助教	山本 佳世乃 ＜平成29年4月＞ 博士(学術) 医療と物語 ※
兼任	助教	佐々木 亮平 ＜平成29年4月＞ 修士(看護学) チーム医療リテラシー ※ 医療と福祉 ※
兼任	助教	石河 太知 ＜平成31年4月＞ 博士(歯学) チーム医療リテラシー ※
兼任	講師	柳谷 千枝子 ＜平成29年4月＞ 修士(英文学) 多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 実践英語 パーソナリティ心理学 ※ 医療と物語 ※ チーム医療リテラシー ※

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞ 文学修士	多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing 科学英語
兼任	講師	ジョザン 曜レイン -小倉 ＜平成29年4月＞ BA in History, BA in Criminal Justice (米国)	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	講師	ケン アサノ ＜平成29年4月＞ BA in Political science (米国)	English Speaking & Listening
兼任	講師	サイモン タンベント ＜平成29年4月＞ BA in Teaching (オーストラリア)	English Speaking & Listening
兼任	講師	赤坂 キヤリン ＜平成29年4月＞ BA in Education (米 国)	English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 ＜平成31年4月＞ 医学(博士)	医療情報論
兼任	講師	工藤 真由美 ＜令和2年4月＞ 修士(看護学)	看護教育論
兼任	講師	安達 登 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内 新 ＜平成29年4月＞ 理学博士	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 ＜平成29年4月＞ 修士(農学)	医療とコミュニケーション ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞ 文学修士	多職種連携のためのアカデミック リテラシー English Reading & Writing
兼任	助教	ジョザン 曜レイン -小倉 ＜平成29年4月＞ BA in History, BA in Criminal Justice (米国)	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	講師	ケン アサノ ＜平成29年4月＞ BA in Political science (米国)	English Speaking & Listening
兼任	講師	サイモン タンベント ＜平成29年4月＞ BA in Teaching (オーストラリア)	English Speaking & Listening
兼任	講師	グニエフ ニューベリー ＜平成29年4月＞ 経営学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	ヘミカシ スミス ＜平成29年4月＞ Bachelor of Education (オーストラリア)	English Speaking & Listening
兼任	講師	アンドリュー ハリス ＜平成30年4月＞ 応用言語学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 ＜平成31年4月＞ 医学(博士)	医療情報論
兼任	講師	工藤 真由美 ＜令和2年4月＞ 修士(看護学)	看護教育論
兼任	講師	安達 登 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内 新 ＜平成29年4月＞ 理学博士	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 ＜平成29年4月＞ 修士(農学)	医療とコミュニケーション ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞ 文学修士	English Reading & Writing
兼任	助教	ジョザン 曜レイン -小倉 ＜平成29年4月＞ BA in History, BA in Criminal Justice (米国)	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	講師	ケン アサノ ＜平成29年4月＞ BA in Political science (米国)	English Speaking & Listening
兼任	講師	グニエフ ニューベリー ＜平成29年4月＞ 経営学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	アンドリュー ハリス ＜平成30年4月＞ 応用言語学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 ＜平成31年4月＞ 医学(博士)	医療情報論
兼任	講師	工藤 真由美 ＜令和2年4月＞ 修士(看護学)	看護教育論
兼任	講師	安達 登 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内 新 ＜平成29年4月＞ 理学博士	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 ＜平成29年4月＞ 修士(農学)	医療とコミュニケーション ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞ 文学修士	English Reading & Writing
兼任	助教	ジョザン 曜レイン -小倉 ＜平成29年4月＞ BA in History, BA in Criminal Justice (米国)	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	講師	ケン アサノ ＜平成29年4月＞ BA in Political science (米国)	English Speaking & Listening
兼任	講師	グニエフ ニューベリー ＜平成29年4月＞ 経営学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	アンドリュー ハリス ＜平成30年4月＞ 応用言語学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 ＜平成31年4月＞ 医学(博士)	医療情報論
兼任	講師	工藤 真由美 ＜令和2年4月＞ 修士(看護学)	看護教育論
兼任	講師	安達 登 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	アドバンスト生物 ※
兼任	講師	栃内 新 ＜平成29年4月＞ 理学博士	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 ＜平成29年4月＞ 修士(農学)	医療とコミュニケーション ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	工藤 裕子 ＜平成29年4月＞ 文学修士	English Reading & Writing
兼任	助教	ジョザン 曜レイン -小倉 ＜平成29年4月＞ BA in History, BA in Criminal Justice (米国)	English Speaking & Listening 医療英語 科学英語 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	講師	ケン アサノ ＜平成29年4月＞ BA in Political science (米国)	English Speaking & Listening
兼任	講師	グニエフ ニューベリー ＜平成29年4月＞ 経営学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	アンドリュー ハリス ＜平成30年4月＞ 応用言語学修士	English Speaking & Listening
兼任	講師	小野 保 ＜平成31年4月＞ 医学(博士)	医療情報論 情報科学 保健統計学 ※ 多職種連携のためのアカデミック リテラシー
兼任	講師	工藤 真由美 ＜令和2年4月＞ 修士(看護学)	看護教育論
兼任	講師	安達 登 ＜平成29年4月＞ 博士(医学)	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	栃内 新 ＜平成29年4月＞ 理学博士	アドバンスト生物 ※ 自然・文化人類学 ※
兼任	講師	松前 もゆる ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	自然・文化人類学 ※
兼任	講師	平野 順子 ＜平成29年4月＞ 修士(農学)	医療とコミュニケーション ※

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	久保田 美恵子 ＜平成29年4月＞ 短期大学卒 医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢 光正 ＜平成29年4月＞ 歯学士 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 医療と福祉 ※
兼任	講師	安田 敏明 ＜平成29年4月＞ 医学士 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 ＜平成29年4月＞ 学士(教育学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤 博幸 ＜平成29年4月＞ 学士(経営法学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多 好郎 ＜平成29年4月＞ 教育学士 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	内城 寛子 ＜平成29年4月＞ 修士(学術) 医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乘 賀也 ＜平成29年4月＞ 修士(医科学) 社会福祉

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	久保田 美恵子 ＜平成29年4月＞ 短期大学卒 医療とコミュニケーション ※
兼任	講師	田沢 光正 ＜平成29年4月＞ 歯学士 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 医療と福祉 ※
兼任	講師	安田 敏明 ＜平成29年4月＞ 医学士 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 ＜平成29年4月＞ 学士(教育学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤 博幸 ＜平成29年4月＞ 学士(経営法学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多 好郎 ＜平成29年4月＞ 教育学士 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	内城 寛子 ＜平成29年4月＞ 修士(学術) 医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乘 賀也 ＜平成29年4月＞ 修士(医科学) 社会福祉

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田沢 光正 ＜平成29年4月＞ 歯学士 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 医療と福祉 ※
兼任	講師	安田 敏明 ＜平成29年4月＞ 医学士 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 ＜平成29年4月＞ 学士(教育学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	豊澤 博幸 ＜平成29年4月＞ 学士(経営法学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	本多 好郎 ＜平成29年4月＞ 教育学士 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	内城 寛子 ＜平成29年4月＞ 修士(学術) 医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乘 賀也 ＜平成29年4月＞ 修士(医科学) 社会福祉
兼任	講師	高橋 昇 ＜平成30年4月＞ 教育学修士 臨床心理学

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田沢 光正 ＜平成29年4月＞ 歯学士 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 栄子 ＜平成29年4月＞ 専門学校卒 医療と福祉 ※
兼任	講師	佐々木 勝忠 ＜平成31年4月＞ 歯学士 医療と福祉 ※
兼任	講師	竹村 祥子 ＜平成31年4月＞ 文学修士 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 智幸 ＜平成31年4月＞ 修士(学術) 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 ＜平成29年4月＞ 学士(教育学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	谷藤 玲二 ＜平成31年4月＞ 体育学士 健康運動科学 ※
兼任	講師	島山 健 ＜平成31年4月＞ 学士(体育学) 健康運動科学 ※
兼任	講師	内城 寛子 ＜平成29年4月＞ 修士(学術) 医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乘 賀也 ＜平成29年4月＞ 修士(医科学) 社会福祉
兼任	講師	高橋 昇 ＜平成29年4月＞ 教育学修士 臨床心理学

【令和2年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	田沢 光正 ＜平成29年4月＞ 歯学士 人間関係論 ※
兼任	講師	森谷 俊樹 ＜平成29年4月＞ 博士(歯学) 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 栄子 ＜平成31年4月＞ 専門学校卒 医療と福祉 ※
兼任	講師	佐々木 勝忠 ＜平成31年4月＞ 歯学士 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 智幸 ＜平成31年4月＞ 修士(学術) 医療と福祉 ※
兼任	講師	高橋 健 ＜平成29年4月＞ 学士(教育学) 健康運動科学 ※ 医療とスポーツ ※
兼任	講師	谷藤 玲二 ＜平成31年4月＞ 体育学士 健康運動科学 ※
兼任	講師	島山 健 ＜平成31年4月＞ 学士(体育学) 健康運動科学 ※
兼任	講師	内城 寛子 ＜平成29年4月＞ 修士(学術) 医療とスポーツ ※
兼任	講師	川乘 賀也 ＜平成29年4月＞ 修士(医科学) 社会福祉
兼任	講師	高橋 昇 ＜平成29年4月＞ 教育学修士 臨床心理学

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・高橋和宏(兼任/准教授)退職に伴う就任辞退(後任補充予定)。
- ・昇任に伴い、奈良場博昭(兼任/准教授)の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、西塚哲(兼任/講師)の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、西谷直之(兼任/講師)の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、松浦誠(兼任/講師)の職名を「准教授」に変更。
- ・佐藤淳也(兼任/講師)退職に伴う就任辞退(後任補充予定)。
- ・蛭田(角井)千鶴江(兼任/助教)退職に伴う就任辞退のため、担当教員を阿部博和(兼任/助教)に変更。
- ・ジョージ 曜 レイ 小倉(兼任/講師)任用に伴い、専任・兼任・兼任の別を「兼任」に、職名を「助教」にそれぞれ変更。
- ・教育内容充実のため、大沼仁美、長谷川大、三浦康宏、岩淵玲子、ジョージ 曜 レイ 小倉(いずれも兼任/助教)を「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の担当教員に追加。
- ・工藤裕子(兼任/講師)の就任辞退により、「科学英語」の担当教員をジョージ 曜 レイ 小倉(兼任/助教)に変更。
- ・サイモン タンセント(兼任/講師)の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をゲニル ニューベリー(兼任/講師)に変更。
- ・赤坂 キヤラン(兼任/講師)の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をヘミツ スミス(兼任/講師)に変更。

【平成30年度】

- ・留意事項4への対応に伴い、高橋亮(専任/教授)、遠藤太(専任/講師)、三宅美智(専任/講師)の担当科目に「基礎看護学実習Ⅱ」をそれぞれ追加(平成29年8月教員審査済み)。
- ・杉山徹(兼任/教授・兼任/講師)退職に伴う就任辞退のため、「医学・医療入門」の担当教員を小笠原邦昭(兼任/教授)に変更。
- ・教育内容充実のため、佐藤孝(兼任/教授)が単独で担当する予定であった「病理学概論」の担当教員に及川浩樹(兼任/講師)、阿保亜紀子(兼任/助教)を追加。
- ・教育課程の充実のため追加した自由科目「地域医療課題解決演習」の担当教員として佐藤洋一(兼任/教授・兼任/講師)、下沖収(兼任/教授)、高橋智弘(兼任/助教)を追加。
- ・高橋和宏(兼任/准教授)退職に伴う就任辞退により、後任補充予定としていた「疾病論Ⅲ」の担当教員として天野博雄(兼任/教授)を追加。
- ・昇任に伴い、肥田圭介(兼任/准教授)の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、相澤文恵(兼任/准教授)の職名を「教授」に変更。教授就任による定年延長に伴い、兼任/講師を削除。
- ・昇任に伴い、田中良一(兼任/講師)の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、帖佐直幸(兼任/講師)の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、西谷直之(兼任/准教授)の職名を「教授」に変更。
- ・教育内容充実のため、内藤雪枝(兼任/助教)を「アドバンスト生物」の担当教員に追加。
- ・授業運営上の都合により、「自然・文化人類学」の阿部博和(兼任/助教)担当分を内藤雪枝(兼任/助教)に変更。
- ・工藤裕子(兼任/講師)の就任辞退により、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の担当教員を内藤雪枝(兼任/助教)に変更。
- ・ヘミツ スミス(兼任/講師)の就任辞退により、「English Speaking & Listening」の担当教員をアンドリュー ハリス(兼任/講師)に変更。
- ・久保田美恵子(兼任/講師)の就任辞退により、「医療とコミュニケーション」の共同担当分を平林香織(兼任/教授)単独担当分に変更。
- ・教育内容充実のため、高橋昇子(兼任/講師)を「臨床心理学」の担当教員に追加。
- ・教育内容充実のため、長澤昌子、竹内可愛、萬徳孝子、菅野綾子(いずれも兼任/講師)を「緩和ケア論」の担当教員に追加。
- ・授業運営上の都合により、「自然・文化人類学」の担当教員に飛内悠子(兼任/講師)を追加。

【令和元年度】

- ・秋山直美(専任/講師)の所属異動並びに教育体制の更なる充実のため、宮本郁子(専任/教授)と岩淵光子(専任/講師)が就任(平成30年8月及び12月教員審査済み)。
- ・教育内容充実のため、藤原弥生(専任/助教)の担当科目に「基礎看護学実習Ⅰ」を追加(平成30年8月教員審査済み)。
- ・留意事項5への対応に伴う教育内容の見直しにより、相澤文恵(兼任/教授)を「公衆衛生看護方法論」の担当教員に追加。
- ・昇任に伴い、吉岡邦浩(兼任/准教授)の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、田島克己(兼任/准教授)の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、藤原尚樹(兼任/准教授)の職名を「教授」に変更。
- ・昇任に伴い、大塚幸喜(兼任/講師)の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、新田浩幸(兼任/講師)の職名を「准教授」に変更。
- ・昇任に伴い、高橋智弘(兼任/助教)の職名を「講師」に変更。
- ・昇任に伴い、藤澤美穂(兼任/助教)の職名を「講師」に変更。
- ・雇用期間の延長に伴い、久慈昭慶(兼任/准教授・兼任/講師)の兼任/講師を削除。
- ・平林香織(兼任/教授)の退職による就任辞退並びに教育内容充実のため、肥田圭介(兼任/教授)、古山和道(兼任/教授)、村木靖(兼任/教授)、増田友之(兼任/教授)、前沢千早(兼任/教授)、森川和政(兼任/教授)、千葉俊美(兼任/教授)、小澤正吾(兼任/教授)、奈良場博昭(兼任/教授)、遠藤寿一(兼任/教授)、近藤ゆき子(兼任/講師)、高宮正隆(兼任/講師)、高田亮(兼任/講師)、廣瀬清英(兼任/講師)、小松真(兼任/講師)、相澤純(兼任/助教)、衣斐美歩(兼任/助教)、横田聖司(兼任/助教)、川崎靖(兼任/助教)、左京智子(兼任/助教)、藤田融(兼任/助教)、牛島弘雅(兼任/助教)、手塚優(兼任/助教)、平松寛彦(兼任/助教)、寒河江康朗(兼任/助教)、小田泰行(兼任/助教)、長谷川大(兼任/助教)、柳谷千枝子(兼任/助教)、大沼仁美(兼任/助教)を「チーム医療リテラシー」の担当教員に追加。
- ・寺山靖夫(兼任/教授・兼任/講師)退職に伴う就任辞退のため、「疾病論Ⅳ」の担当教員を工藤裕子(兼任/講師)に変更。
- ・教育内容充実のため、佐々木真理(兼任/教授)を「医学・医療入門」の担当教員に追加。
- ・水野大(兼任/准教授)退職による就任辞退に伴い、「疾病論Ⅱ」の担当教員を小林めぐみ(兼任/助教)に変更。
- ・教育内容充実のため、藤原弘之、富永綾(いずれも兼任/助教)を「災害医療論」の担当教員に追加。
- ・本多好郎、豊澤博幸(いずれも兼任/講師)の就任辞退により、「健康運動科学」の担当教員を谷藤玲二、畠山健(いずれも兼任/講師)に変更。
- ・教育内容充実のため、内藤雪枝(兼任/助教)を「ベーシック生物」及び「スタンダード生物」の担当教員に追加。
- ・平林香織(兼任/教授)の退職による就任辞退に伴い、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の担当教員を高橋史朗(兼任/教授)に、「文学の世界」の担当教員を塩谷昌弘(兼任/講師)にそれぞれ変更し、藤澤美穂(兼任/講師)、塩谷昌弘(兼任/講師)、大関信隆(兼任/講師)を「医療とコミュニケーション」の担当教員に追加。
- ・平林香織(兼任/教授)の退職による就任辞退並びに佐藤洋一及び安田敏明(いずれも兼任/講師)の就任辞退に伴い、高橋栄子、佐々木勝忠、竹村祥子、高橋智幸(いずれも兼任/講師)を「医療と福祉」の担当教員に追加。
- ・教育内容充実のため、出羽厚二(兼任/教授)、藤澤美穂(兼任/講師)、柳谷千枝子(兼任/助教)、佐藤洋一(兼任/講師)、熊谷治子(兼任/講師)、亀田政則(兼任/講師)、中島淳子(兼任/講師)を「医療と物語」の担当教員に追加。
- ・教育内容充実のため、柳谷千枝子(兼任/助教)、中島淳子(兼任/講師)を「パーソナリティ心理学」の担当教員に追加。
- ・教育内容充実のため、石垣泰(兼任/教授)、森川和政(兼任/教授)、千葉俊美(兼任/教授)、高橋寛(兼任/教授)、熊谷章子(兼任/准教授)、松浦誠(兼任/准教授)を「地域医療課題解決演習」の担当教員に追加。

【令和2年度】

・野村陽子（専任/教授）の退職に伴う非常勤講師就任により、専任・兼任・兼任の別を「兼任」、職名を「講師」、担当科目を「看護政策論」にそれぞれ変更。
 ・野村陽子（専任/教授）の退職による就任辞退に伴い、「地域看護学Ⅰ」及び「保健医療福祉行政論」の担当教員を宮本郁子（専任/教授）に変更（令和2年2月教員審査済み）。

・野村陽子（専任/教授）の退職による就任辞退並びに竹村祥子（兼任/講師）の就任辞退に伴い、「医療と福祉」の担当教員を近藤昭恵及び小野澤章子（いずれも兼任/講師）に変更。

・担当教員の見直しにより、大澤扶佐子（専任/講師）の担当科目に「公衆衛生看護管理論Ⅱ」を追加（令和2年2月教員審査済み）。

・担当教員の見直しにより、岩淵光子（専任/講師）の担当科目に「在宅看護方法論」を追加（令和2年2月教員審査済み）。

・昇任に伴い、新田浩幸（兼任/准教授）の職名を「教授」に変更。
 ・昇任に伴い、柳谷千枝子（兼任/助教）の職名を「講師」に変更。

・小野保（兼任/講師）任用に伴い、専任・兼任・兼任の別を「兼任」に変更。
 ・寒河江康朗（兼任/助教）及び岩淵玲子（兼任/助教）の退職による就任辞退に伴い、「多職種連携のためのアカデミックリテラシー」の担当教員を佐々木亮平（兼任/助教）及び小野保（兼任/講師）に変更。

・教育内容充実のため、小野保（兼任/助教）の担当科目に「情報科学」、「保健統計学」を追加。
 ・教育内容充実のため、佐々木亮平（兼任/講師）の担当科目に「健康運動科学」、「医療とスポーツ」を追加。

・出羽厚二（兼任/教授）の退職に伴う非常勤講師就任により、専任・兼任・兼任の別を「兼任」、職名を「講師」、担当科目を「自然・文化人類学」にそれぞれ変更。

・増田友之（兼任/教授）、寒河江康朗（兼任/講師）及び平松寛彦（兼任/助教）の退職による就任辞退並びに担当教員の見直しにより、「チーム医療リテラシー」の担当教員を前沢千早（兼任/教授）、高宮正隆（兼任/講師）、衣斐美歩（兼任/助教）、横田聖司（兼任/助教）、川崎靖（兼任/助教）、左京智子（兼任/助教）、藤田融（兼任/助教）、牛島弘雅（兼任/助教）、手塚優（兼任/助教）、小田泰行（兼任/助教）から、田島克巳（兼任/教授）、佐藤孝（兼任/教授）、柴崎昌彦（兼任/助教）、池崎晶二郎（兼任/助教）、熊谷章子（兼任/准教授）、稲垣祥（兼任/助教）、關谷瑞樹（兼任/助教）、後藤奈緒美（兼任/助教）、松尾泰佑（兼任/助教）、杉山育美（兼任/助教）、高橋宏彰（兼任/助教）、朝賀純一（兼任/准教授）、江尻正一（兼任/教授）に変更。

・担当教員の見直しにより、「4学部合同セミナー」の担当教員を小笠原邦昭（兼任/教授）、石崎明（兼任/教授）、八重柏隆（兼任/教授）、駒野宏人（兼任/教授）、藤井勲（兼任/教授）、田島克巳（兼任/教授）、鈴木啓二郎（兼任/准教授）、平海晴一（兼任/准教授）、高田亮（兼任/講師）、相澤純（兼任/助教）から、中西真弓（兼任/教授）、奈良場博昭（兼任/教授）、新田浩幸（兼任/教授）、吉田研二（兼任/講師）、松浦誠（兼任/准教授）、千葉俊美（兼任/教授）、川崎靖（兼任/助教）、左京智子（兼任/助教）、牛島弘雅（兼任/助教）、關谷瑞樹（兼任/助教）、杉山育美（兼任/助教）、高橋宏彰（兼任/助教）、朝賀純一（兼任/准教授）、滝川康裕（兼任/教授）、染井俊一（兼任/講師）、武部典子（兼任/講師）、木村琢巳（兼任/助教）、平野邦夫（兼任/助教）、岡野良昭（兼任/助教）、水野昌宣（兼任/助教）、坪井潤一（兼任/助教）、出口博之（兼任/准教授）、三又義訓（兼任/助教）、羽場巖（兼任/助教）、平井大士（兼任/助教）、及川伸一（兼任/助教）、渡辺彩乃（兼任/助教）、三田俊成（兼任/助教）、及川博文（兼任/助教）、大畑光彦（兼任/准教授）、七崎之利（兼任/助教）、鈴木泰（兼任/准教授）、山田哲也（兼任/助教）、上杉憲幸（兼任/講師）、千田弥栄子（兼任/助教）、菅徹也（兼任/助教）、村井治（兼任/助教）、滝沢尚希（兼任/助教）、田邊憲昌（兼任/助教）、島山航（兼任/助教）、横田潤（兼任/助教）、山田浩之（兼任/教授）、角田直子（兼任/助教）、山谷元氣（兼任/助教）、佐藤雅仁（兼任/准教授）、星野正行（兼任/助教）、氏家隼人（兼任/助教）、河野富一（兼任/教授）、田村理（兼任/准教授）、野中孝昌（兼任/教授）、藤本康之（兼任/准教授）、大橋綾子（兼任/教授）、白石博久（兼任/准教授）、大橋一晶（兼任/准教授）、高橋巖（兼任/助教）、佐塚泰之（兼任/教授）、幅野渉（兼任/准教授）、寺島潤（兼任/助教）、杉山晶規（兼任/教授）、工藤賢三（兼任/教授）に変更。

・担当教員の見直しにより、内藤雪枝（兼任/助教）の担当科目から「ベーシック生物」を削除。

・松前もゆる（兼任/講師）の就任辞退に伴い、「自然・文化人類学」の担当教員を安達登（兼任/講師）に変更。

・教育内容充実のため、中島成隆（兼任/助教）を「災害医療論」の担当教員に追加。

・亀田政則（兼任/講師）の就任辞退に伴い、担当教員表から削除。

・担当教員の見直しにより、「地域医療課題解決演習」の担当教員を石垣泰（兼任/教授）、森川和政（兼任/教授）、千葉俊美（兼任/教授）から、岸光男（兼任/教授）、小林琢也（兼任/教授）に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）**を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
7	3	10	11	31	5	7	3	10	11	31	6
(7)	(2)	(5)	(4)	(18)	(2)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
7	3	10	11	31	6	7	3	10	11	31	6
[]	[]	[]	[]	[]	[1]	[]	[]	[]	[]	[]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、**

完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長 して採用する教員 数
教授：65歳 教授以外：60歳 歳	7 名	7 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入

し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{31} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{7}{31} = \boxed{22.58} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{6}{5} = \boxed{120} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	秋山 直美	H31.3	必修	地域看護学展開論	①	平成31年4月1日付け所属異動に伴い、本学医学部の専任教員となったため（元）
				必修	在宅看護方法論	①	
				必修	在宅看護学演習	①	
				必修	看護研究	①	
				必修	基礎看護学実習 I	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	統合看護実習	①	
				選択	公衆衛生看護方法論	①	
				選択	公衆衛生看護学展開論	①	
				選択	公衆衛生看護管理論 I	①	
				自由	看護研究実践演習	①	
2	教授	野村 陽子	R2.3	必修	4学部合同セミナー	①	令和2年3月31日付け退職のため（2）
				必修	地域看護学 I	①	
				必修	在宅看護学演習	①	
				必修	看護政策論	②	
				必修	看護研究	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	統合看護実習	①	
				選択	保健医療福祉行政論	①	
				選択	公衆衛生看護方法論	①	
				選択	公衆衛生看護学展開論	①	
				選択	公衆衛生看護管理論 I	①	
				選択	公衆衛生看護学実習	①	
				選択	医療と福祉	②	
自由	看護研究実践演習	①					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	14	科目	必修	13	科目
		選択	10	科目	選択	9	科目
		自由	2	科目	自由	2	科目
		計	26	科目	計	24	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
2 人	必修	14	科目	必修	13	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
	選択	10	科目	選択	9	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
	自由	2	科目	自由	2	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	26	科目	計	24	科目	計	2	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{2}{31} = \boxed{6.45} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 「該当なし」

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
合計												
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

野村教授の退職にあたっては、慰留に努めたものの他大学の学長就任という事情を考慮し、まずは学生の履修等への影響を最小限に抑えるため、直ちに後任者の選考に着手した。しかし、AC教員審査受審の期限が迫る中、適当な専任教員を採用することができなかったことから、当該教員が担当することとしていた授業科目は、他の専任教員や非常勤講師に交代することとした (交代する専任教員についてはAC教員審査を受審し、令和2年2月に全員「可」の判定を受けた)。学生に対しては、年度当初のガイダンス時や当該科目の開講時にシラバスを用いて教員の交代について周知を図っており、履修等への影響はないと考えている。なお、設置時の計画通りの専任教員数に加え、助手を1名増員しているものの、現在も継続して当該教員の後任者確保に努めている。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画	
認 可 時 (平成28年)	1. 学生への履修指導に当たっては、科目区分「看護専門科目」、「発展科目」、「公衆衛生看護学関連科目群」及び「助産看護学関連科目群」の相互の関連性を踏まえて適切に行うこと。また、学生の主体的な科目履修を促すためにも、学生に対して、これらの科目区分の位置付けを十分に周知すること。	留意事項 全学年の学生に対し、年度当初のガイダンスにおいて、履修制度はもとより科目構成の考え方や科目区分の位置付けおよび選択科目の履修方法等を学生に十分に説明するとともに、シラバス（教育要項）にも掲載しているカリキュラムマップや履修科目一覧等により、科目区分相互の関連性を明確に提示した。また、3年次からの保健師養成課程および助産師養成課程の履修者に対するガイダンスも実施し、各養成課程における教育内容の説明を行った。このほか、オフィスアワーを広く設定するとともに、クラス担任制度やキャンパスサポーター制度等、学生が教員に質問や相談を行いやすい体制が構築されており、個別履修指導にも対応している。なお、学生へのガイダンスは、今後も各学年・各養成課程において同様に実施することとしている。	履行済	
認 可 時 (平成28年)	2. 保健師や助産師の資格取得のための履修者選抜時期や結果通知の時期は、在学生と編入学生の公平性を図るため編入学試験の時期に合わせて同時に行うという計画であるが、これらの時期は、在学生と編入学生それぞれの学修の進度に応じた適切な時期を設定すべきであり、同時期とすることは適切ではないことから、公平性の確保に留意しつつ、再度検討すること。	留意事項 保健師や助産師の資格取得のための選択履修科目が3年次から開講されることに鑑み、昨年度同様、在学生は2年次後期定期試験終了時にそれぞれの選考を行った。編入学生については、編入学試験の時期にそれぞれの定員を設定して選考を行った。なお、出願から結果通知の時期等に関する具体的なスケジュールを定め、選考方法、履修者数のほか志願理由書の様式等も併せて年度当初のガイダンス時に在学生に説明を行ったほか、編入学生に対しては、入試要項やホームページ等により、選考方法等の周知徹底を図っており、今後も同様の時期に履修者の選考を実施することとしている。	履行済	
認 可 時 (平成28年)	3. 科目区分「在宅看護学」に、分野の異なる地域看護学に関する授業科目を配置するのは不適切であるため、地域看護学に関する科目区分を新たに設けるか、科目区分「在宅看護学」の名称を地域看護学が含まれる名称に改めること。	留意事項 科目区分を「在宅看護学」から「在宅・地域看護学」に変更し、学則の別表を改正した。なお、当該変更に係る手続きとして、看護師学校等変更承認申請書の提出（平成29年8月承認済）および学則変更の届出（平成28年12月提出）を行った。	履行済	

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成28年)	4. 「基礎看護学実習Ⅱ」に、これまでの教育内容に加え、新たに基本的な看護過程の展開を学ぶ内容を追加したにもかかわらず、授業時間数、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュール及び教員の指導体制が追加前と同様であるため、追加された教育内容に見合った教育が可能であるのか不明確である。そのため、追加した教育内容に対応可能な授業時間数や実習施設の確保、学生の配置計画、実習スケジュール、教員の指導体制となるよう実習計画を適切に改めること。その際は、「基礎看護学実習Ⅰ」と「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数の比率についても、両者の授業内容に見合ったものとなっているか再度見直すこと。	留意事項	「基礎看護学実習Ⅱ」の期間を1週間から2週間に変更するとともに、実習施設、学生の配置計画、実習スケジュールおよび教員の指導体制の見直しを図り、「基礎看護学実習Ⅰ」の単位数を2単位から1単位へ、「基礎看護学実習Ⅱ」の単位数を1単位から2単位へそれぞれ変更した。また、「基礎看護学実習Ⅱ」の教育体制の充実を図るため、新たに専任教員3名を追加した。なお、当該変更に係る手続きとして、看護師学校等変更承認申請書の提出（平成29年8月承認済）、担当教員3名のAC教員審査の受審（平成29年8月全員判定「可」）ならびに学則変更の届出（平成28年12月提出）を行った。	履行済
認 可 時 (平成28年)	5. 看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格に係る科目のうち、共通する内容を教授するものについては、必要に応じて科目の統合や授業内容の調整を行い、学生の負担の軽減に努めること。	留意事項	看護師、保健師及び助産師の国家試験受験資格に係る科目のうち、共通の内容を教授する科目の統合や授業内容の調整を行った結果、公衆衛生看護学関連科目群の3科目（公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護展開論、公衆衛生看護管理論Ⅰ）をそれぞれ2単位から1単位に、助産看護学関連科目群の3科目（助産学概論、助産診断技術学Ⅱ、助産診断技術学Ⅴ）をそれぞれ2単位から1単位に変更し、学生の負担の軽減を図った。なお、当該変更に係る手続きとして、看護師学校等変更承認申請書の提出（平成30年9月承認済）、担当教員11名のAC教員審査の受審（平成30年8月及び12月全員判定「可」）ならびに学則変更の届出（平成30年9月提出）を行った。	履行済
認 可 時 (平成28年)	6. 教員の補充を必要とされた1授業科目については、科目開講時まで確実に専任教員を配置して教員を充足すること。	留意事項	教員の補充を必要とされた1授業科目について、専任教員1名がAC教員審査を受審し、平成29年8月に「可」の判定を受けた。これにより、科目開講時（令和2年度）までに専任教員を配置することができた。	履行済

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成28年)	7. 完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。 留意事項	完成年度後の後任者は、適正で厳格な審査による内部昇格や公募、本学附属病院との人事交流等により採用し、教育研究活動の活性化および教育研究水準の維持向上に努めることとしており、教授会に設置している人事教授会により、看護学部の将来構想を踏まえた専任教員の中長期的採用計画を策定することとしている。 令和元年度には、これまでに議論を重ねた学部の将来構想を踏まえ、完成年度に教授または准教授等が定年退職を迎える5つの領域について、それぞれの選考委員会を立ち上げ、後任者確保に着手した。 また、5つの領域の教授または准教授の選考状況を踏まえ、完成年度後の教員組織編制の方向性が定まった段階で、総合的な観点から在職中の教員の内部昇格等を検討することとしており、看護学教育を取り巻く環境の変化に対応した教育課程の編成や学部の安定的かつ継続的な発展を常に見据え、学部運営を着実に進めることとしている。	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	<p>新型コロナウイルス感染症への対応に伴う授業計画の変更について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年3月に実施予定であった臨地実習2科目について、感染拡大防止の観点から実習中止とし、次年度に開講時期を変更した。今後の実習については、文部科学省からの通達や実習施設の受入方針に基づき、学生の安全面を最優先とし、弾力的に取扱うこととしている。 ・令和2年度開講授業科目については、間隔を空けた座席配置、教室の換気、演習内容や実施時期の見直し、共有物を極力減らす等の感染制御対策を講じながら開講している。また、岩手県外在住の非常勤講師による授業科目は、当面の間、遠隔授業または日程変更により対応することとしている。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>◆全学教育推進機構委員会 ※資料1：全学教育推進機構規程 ※資料2：全学教育推進機構委員会規程</p> <p>本学には、全学的教育施策の企画および学部間の連携・横断教育を推進する全学教育推進機構が設置されており、所掌する事項を審議する機関として全学教育推進機構委員会が組織されている。同委員会では、全学的なFD等の企画・実施、授業評価ならびにシラバスの第三者チェックによる相互評価等、教員の資質の維持向上に関する審議も行っている。</p> <p>◆看護学部教務委員会および教育評価・研修部会 ※資料3：看護学部教務委員会規程</p> <p>看護学部教授会に看護学部の教務全般を所掌する教務委員会を設置している。同委員会には、授業評価に関する事項、認証評価等の実施および報告書に関する事項、教員FD（WS、シンポジウム等）に関する事項ならびに教育関連会議の情報収集および教員派遣に関する業務を専門的に担当する教育評価・研修部会が置かれている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>◆全学教育推進機構委員会</p> <p>原則として月1回開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、令和2年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。</p> <p><令和元（平成31）年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成31年4月25日（木） <参加者：本学教員9名> ・第2回 令和元年5月30日（木） <参加者：本学教員11名（うち看護学部教員1名）> ・第3回 令和元年6月27日（木） <参加者：本学教員8名（うち看護学部教員1名）> ・第4回 令和元年7月25日（木） <参加者：本学教員12名（うち看護学部教員2名）> ・第5回 令和元年9月26日（木） <参加者：本学教員10名（うち看護学部教員1名）> ・第6回 令和元年10月31日（木） <参加者：本学教員10名> ・第7回 令和元年11月28日（木） <参加者：本学教員10名（うち看護学部教員1名）> ・第8回 令和元年12月26日（木） <参加者：本学教員10名（うち看護学部教員1名）> ・第9回 令和2年1月30日（木） <参加者：本学教員8名（うち看護学部教員1名）> ・第10回 令和2年2月27日（木） <参加者：本学教員11名（うち看護学部教員2名）> ・第11回 令和2年3月11日（水） <参加者：本学教員10名（うち看護学部教員1名）> ・第12回 令和2年3月26日（木） <参加者：本学教員11名（うち看護学部教員1名）> <p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和2年4月27日（月） <参加者：本学教員12名（うち看護学部教員2名）> <p>◆看護学部教務委員会</p> <p>原則として毎月第2火曜日に開催するほか、必要に応じて臨時に開催することとしており、令和2年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。</p> <p><令和元（平成31）年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 平成31年4月9日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第2回 令和元年5月9日（木） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第3回 令和元年6月11日（火） <参加者：看護学部教員5名> ・第4回 令和元年7月9日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第5回 令和元年8月7日（水） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第6回 令和元年9月10日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第7回 令和元年10月8日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第8回 令和元年11月12日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第9回 令和元年12月10日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第10回 令和2年1月7日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第11回 令和2年2月4日（火） <参加者：看護学部教員4名、教養教育センター教員1名> ・第12回 令和2年3月3日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第13回 令和2年3月23日（月） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> <p><令和2年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 令和2年4月7日（火） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名> ・第2回 令和2年4月13日（月） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>

◆教育評価・研修部会

必要に応じて開催することとしており、令和2年5月1日現在の開催状況は以下のとおりである。

<令和元（平成31）年度>

- ・第1回 平成31年4月17日（水） <参加者：看護学部教員7名、教養教育センター教員1名>
- ・第2回 令和元年8月1日（木） <参加者：看護学部教員6名、教養教育センター教員1名>
- ・第3回 令和元年11月20日（木） <参加者：看護学部教員5名、教養教育センター教員1名>
- ・第4回 令和2年2月13日（木） <参加者：看護学部教員7名、教養教育センター教員1名>
- ・第5回 令和2年2月27日（木） <参加者：看護学部教員7名、教養教育センター教員1名>
- ・第6回 令和2年3月18日（水） <参加者：看護学部教員7名、教養教育センター教員1名>

<令和2年度>

- ・第1回 令和2年4月10日（金） <参加者：看護学部教員8名、教養教育センター教員1名>

c 委員会の審議事項等

◆全学教育推進機構委員会（抜粋）

- ・全学教育推進機構FDワークショップに関する事
- ・全学教育推進機構FD・SD講習会に関する事
- ・多職種連携PBLワークショップに関する事
- ・学修支援アンケートに関する事
- ・シラバス作成要領およびシラバス第三者チェックに関する事

◆看護学部教務委員会および教育評価・研修部会（抜粋）

- ・看護学部FDワークショップに関する事
- ・助手を対象とした研修（助手指導年間計画）に関する事
- ・看護学部授業評価に関する事
- ・教養教育センター授業評価に関する事

② 実施状況

I. 看護学部主催研修会

- ・学生による授業評価結果を活用した授業改善事例報告・授業設計方法に関する研修会
- ・最新の看護師国家試験の傾向を押さえ、学生の学修サポートの仕方を共通認識するため研修会
- ・アクティブラーニング等の学生にとって魅力的な授業を設計するための教育学の知識・スキルを学ぶ研修会
- ・助手が実習指導に必要な知識や技術を習得し、学生指導に求められる能力を身に付けることを目的とした研修

II. 看護学部以外の学内部署主催研修会等

- ・新規採用となった助教・助手を対象とした本学の教育現状に関する講習会
- ・学生支援に関する研修会
- ・医療系データサイエンス教育に関する研修会
- ・授業改善とシラバス作成に関する研修会

b 実施方法

事前に策定する実施計画に基づき、講演・グループワーク・個別指導等の形式で実施している。また、必要に応じて看護系大学の協会や協議会等が主催する研修会へ積極的に参加したほか、録画した研修会動画のweb視聴も活用し、自己研鑽の機会を設けた。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

I. 看護学部主催研修会

(1) FDワークショップ

- ・第1回看護学部FDワークショップ
 - 開催日：平成31年4月24日（水）
 - テーマ：学生による授業評価結果を活用した授業改善事例報告・授業設計方法
 - 参加者：看護学部教員30名
- ・第2回看護学部FDワークショップ
 - 開催日：令和元年7月19日（金）
 - テーマ：国家試験対策に係る研修会
 - 参加者：看護学部教員27名
- ・第3回看護学部FDワークショップ
 - 開催日：令和元年11月2日（土）
 - テーマ：アクティブラーニングを用いた授業設計
 - 参加者：看護学部教員26名、医学部教員3名、薬学部教員1名、教養教育センター教員1名

(2) 助手を対象とした研修（年間を通して複数回の研修を実施）

- 目的：臨地実習を円滑に進めるための支援が行える助手の育成
- 内容：大学、学部の教育理念・方針・目標・授業内容等のオリエンテーション、臨地実習における助手の役割の理解、研究活動に関する研修、領域別実習指導計画検討への参画 等
- 参加者：看護学部在籍する助手

II. 看護学部以外の学内部署主催研修会等

- ・全学教育推進機構FD講習会（主催：全学教育推進機構）
 - 開催日：平成31年4月1日（月）
 - テーマ：岩手医科大学の教育現状と今後の展望について
 - 参加者：本学新任教員36名（うち看護学部教員5名）
- ・学生支援に関するFD、SD研修会（主催：教養教育センター学生専門委員会、キャンパスサポーター）
 - 開催日：令和元年6月28日（金）
 - テーマ：学生の命にかかわる場面での対応をめぐって
 - 参加者：本学教員44名（うち看護学部教員2名）
- ・全学教育推進機構FD・SD講習会（主催：全学教育推進機構）
 - テーマ：医療系データサイエンス教育の現状と課題
 - 開催日：令和元年9月25日（水）
 - 参加者：本学教員37名（うち看護学部教員3名）
- ・全学教育推進機構FD・SD講習会（主催：全学教育推進機構）
 - テーマ：シラバス作成について ―授業方法等の留意点解説―
 - 開催日：令和元年11月22日（金）
 - 参加者：本学教員368名（うち看護学部教員26名）
- ・全学教育推進機構FD講習会（主催：全学教育推進機構）
 - テーマ：岩手医科大学の教育現状と今後の展望について
 - 開催日：令和2年4月1日（水）～4月30日（木）※Web視聴
 - 参加者：本学教員13名（うち看護学部教員5名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

看護学部が主催した研修会の概要や配布資料、事後アンケートの集計結果等については、看護学部教員研修会報告書として取りまとめ、看護学部全教員に配布し振り返りを行った。これにより、恒常的な教育内容および教育方法の見直し・改善に役立てることとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

<実施状況>

- ・看護学部第1学年開講科目（実施率100%）
 - 前期 教養6科目、専門5科目、他学部合同18科目
 - 後期 教養3科目、専門1科目、他学部合同7科目
 - 通期 教養2科目、専門2科目
- ・看護学部第2学年開講科目（実施率100%）
 - 前期 教養1科目、専門16科目
 - 後期 専門11科目
- ・看護学部第3学年開講科目（実施率100%）
 - 前期 専門17科目
 - 後期 専門12科目

授業評価アンケートの実施時期は、原則として各科目の最終授業日としている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各種会議等において、実施状況や集計結果を報告したほか、大学ホームページへの掲載を行っている。また、当該年度において高評価を得た教員個人および科目に対する顕彰を行った。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 「該当なし」

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。
併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設3年目の令和元（平成31）年度は、第3期生として90名（入学定員90名）の新入生が入学したほか、教員組織編制の面では、5名の専任教員（うち助手1名）が着任した。教育課程の実施にあたっては、カリキュラム・ポリシーに基づき配当した1～3年次の授業科目を全て開講し、IPE（多職種連携教育）関連科目を含む教養教育科目、看護専門基礎科目並びに看護専門科目における実践的かつ体系的な学修を展開するとともに、3年次には各専門分野の臨地実習において既修の知識・技術の統合を図った。

キャリア教育においては、昨年度同様、各学年の年度当初に開催した進路総合ガイダンスのほか、現役の看護師・保健師・助産師による職種別講演会や夏季休暇を利用した岩手県内の病院・介護施設等における看護体験や地域医療の現場で活躍する看護職員との交流セミナーを通じて、低学年から進路意識の醸成を図っており、段階的に働くことの意義や心構えを習得する機会を設けた。さらには、附属病院に勤務する新人看護師・育児中の看護師・認定看護師によるキャリアビジョン講演会の開催、公務員試験（教養試験）対策講座の開講ならびに希望者への個別相談や面接指導の実施等、学生一人ひとりが納得のいく就職ができるよう支援を行っている。

学生支援の面では、クラス担任による個人面談や出席不良者への個別対応をはじめ、1年次の授業科目を担当する教養教育センター教員を中心に構成される「キャンパスサポーター」や健康管理センターに常駐する臨床心理士及び保健師による相談・指導体制を構築しており、学生が学業に専念し、安定した学生生活を送れるよう組織的なサポートを行っている。

また、本学は教育・研究活動の向上を図る見地から、「岩手医科大学全学自己評価委員会」を組織しており、建学の精神に基づく全学的な教育研究活動等の状況を自ら点検および評価を行っている。

看護学部では、教授会から独立した自己点検組織である「看護学部自己評価専門部会」において、教育研究活動等に関する自己点検・評価のほか、設置の趣旨や目的の達成状況に関する評価と改善方法等の議論を行った。令和元年度における看護学部の取組状況の点検・評価結果については、「自己点検評価報告書」として取りまとめしており、年度毎にPDCAサイクルのどの位置にいるかを認識し、次年度以降の改善状況を明確化することとしている。なお、報告書の内容については、今年度中に開催される岩手医科大学全学自己評価委員会で評価を受ける予定である。

学部完成年度となる令和2年度の学生受入れにおいては、アドミッション・ポリシーに則り、オープンキャンパスや進学相談会、高校訪問等の学生募集活動を積極的に展開し、第4期生として90名の入学生を受入れた。開設年度以降4年間の平均入学定員超過率は、1.02倍と厳格かつ適正な定員管理を行っており、学修環境ならびに教育の質の保証を図っている。

以上の取組みを継続することで設置計画に基づいた学部運営を推進するとともに、医学部・歯学部・薬学部に加え附属病院を併設する医療系総合大学としての教育研究資源を最大限に活用し、総合的でバランスのとれた看護専門職者の養成に努めることとしている。

② 自己点検・評価報告書

- a 公表（予定）時期
 - ・令和2年8月31日 公表予定
- b 公表方法
 - ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

令和2年度に第3期機関別認証評価（公益財団法人大学基準協会）を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
 また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
 なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

- a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ a で「有」の場合 ≫

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]
- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ a で公表「無」の場合 ≫

- d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

全学教育推進機構規程

(目的)

第1条 組織規程第3条の2第3項に基づき、全学教育推進機構（以下「機構」という。）並びに機構に置く教養教育センター及びシミュレーションセンターの組織運営について定める。

(機構の業務)

第2条 機構は、次に掲げる業務を所掌する。

- (1) 全学の連携・横断教育(他大学、高校との連携を含む)の推進に関する事。
- (2) 全学的な教育施策の企画、立案及び点検・評価に関する事。
- (3) 教育に係る各種補助金の応募企画に関する事。
- (4) 学修環境の整備計画の策定に関する事。
- (5) その他関連する業務

(機構の組織)

第3条 機構に、機構長及び副機構長の他、必要な教職員を置くことができる。

(教養教育センターの業務)

第4条 教養教育センターは、機構の業務に関し、次の業務を所掌する。

- (1) 教養教育・準備教育・リメディアル教育に係るカリキュラムの編成・研究開発・点検・評価に関する事。
- (2) 各学部教授会からの諮問による教養教育・準備教育・リメディアル教育に係る学生の試験・成績評価・進級・休学・退学に関する事。
- (3) 各学部教授会からの諮問による学生の生活指導および福利厚生に関する事。
- (4) 教養教育センターの学事・諸行事に関する事。
- (5) 教養教育センター専任教員（以下「専任教員」という。）の人事に関する事。
- (6) その他教養教育に関連する業務

(教養教育センターの組織)

第5条 教養教育センターに、教養教育センター長及び副センター長の他、次の教職員を置くことができる。

- (1) 専任教員
- (2) その他教養教育センターの業務に必要な教職員

(シミュレーションセンターの業務)

第6条 シミュレーションセンターは、機構の業務に関し、次の業務を所掌する。

- (1) 本学におけるシミュレーション教育の環境整備・開発・点検・評価に関する事。
- (2) シミュレーションセンターにおけるシミュレーター管理に関する事。
- (3) その他シミュレーション教育に関する事。

(シミュレーションセンターの組織)

第7条 シミュレーションセンターに、シミュレーションセンター長及び副センター長の他、次の教職員を置くことができる。

- (1) 専任教員
- (2) 看護師
- (3) 臨床工学技士
- (4) その他シミュレーションセンターの業務に必要な教職員

(委員会)

第8条 機構並びに教養教育センター及びシミュレーションセンターの所掌事項について審議するため、それぞれ全学教育推進機構委員会（以下「機構委員会」という。）並びに教養教育センター委員会及びシミュレーションセンター運営委員会を置く。

2 前項に規定する各委員会の組織及び運営について必要な事項は、別に定める。

(事務)

第9条 この規程に関する事務は、全学教育企画課が行う。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、機構並びに教養教育センター及びシミュレーションセンターの運営に関し必要な事項は、機構長が機構委員会に諮って定める。

(改廃)

第11条 この規程の改廃は、機構委員会の議を経て機構長が行う。

附 則

1. この規程は、平成26年4月1日から施行する。
2. 共通教育センター規程、共通教育センター会議規程及び全学教育運営委員会規程は、廃止する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。（機構委員会構成の変更）

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。（看護学部設置に伴う機構委員会構成の変更）

附 則

この要領は、平成29年4月1日から施行する。（全学教育推進機構事務室の矢巾キャンパス教務課への統合に伴う改正）

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。（シミュレーションセンターの設置、事務局再編に伴う改正）

全学教育推進機構委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、全学教育推進機構規程第8条第2項に基づき、全学教育推進機構委員会（以下「機構委員会」という。）の組織及び運営について定める。

(構成)

第2条 機構委員会は、次の委員をもって構成し、学長が任命する。

- (1) 全学教育推進機構長（以下「機構長」という。）
- (2) 全学教育推進機構副機構長
- (3) 医学部教務委員長
- (4) 歯学部教務委員長
- (5) 薬学部教務委員長
- (6) 看護学部教務委員長
- (7) 教養教育センター長
- (8) シミュレーションセンター長
- (9) 医学部教授会から推薦された医学部教務委員会委員1名
- (10) 歯学部教授会から推薦された歯学部教務委員会委員1名
- (11) 薬学部教授会から推薦された薬学部教務委員会委員1名
- (12) 看護学部教授会から推薦された看護学部教務委員会委員1名
- (13) 教養教育センター教務専門委員会委員長
- (14) 医学研究科委員会から推薦された医学研究科教務委員会委員1名（(3)または(9)の委員との兼任可）
- (15) 歯学研究科委員会から推薦された歯学研究科小委員会委員1名（(4)または(10)の委員との兼任可）
- (16) 薬学研究科委員会から推薦された薬学研究科教務委員会委員1名（(5)または(11)の委員との兼任可）
- (17) 学務部長

2 前項第9号から第12号に掲げる委員の任期は各学部教務委員会委員の任期とし、再任を妨げない。但し、欠員が生じた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第3条 機構委員会に委員長を置き、機構長をもって充てる。

2 委員長は機構委員会を招集し、議長となる。

3 委員長に事故あるときは、委員長が予め指名する委員がその職務を代理する。

(機構委員会の開催)

第4条 機構委員会は、原則として月1回開催するほか、委員長が必要と認めた場合は随時開催することができるものとする。

2 機構委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開催できない。

3 委員長が必要と認める場合は、委員以外の者を出席させ、意見を聴くことができる。

(機構委員会の議事)

第5条 機構委員会の議事は、出席委員の過半数をもってこれを決し、可否同数の場合は委員長の決すところによる。

(専門部会等)

第6条 機構委員会に必要な応じて専門部会等を置くことができる。

2 専門部会等の組織及び運営等について必要な事項は、別に定める。

(事務)

第7条 この規程に関する事務は、全学教育企画課が行う。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、機構委員会の運営に関し必要な事項は、機構長が機構委員会に諮って定める。

(改廃)

第9条 この規程の改廃は、機構委員会の議を経て機構長が行う。

附則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。

附則

この規程は、令和2年2月1日から施行する。(機構委員会構成の変更(大学院教員の追加))

看護学部教務委員会規程

制定 平成29年2月8日

(設置)

第1条 看護学部教育に関する事項を審議するため、看護学部教務委員会（以下「教務委員会」という。）を看護学部教授会（以下「教授会」という。）に置く。

(教務委員会の構成)

第2条 教務委員会は、次の委員をもって構成し、学長が任命する。

- (1) 教授会が指名する教授 4名以上
- (2) 教授会が指名する准教授又は講師 若干名
- (3) 教養教育センター委員会が指名する教授 若干名
- (4) 看護学部教務課長

2 前項第1号から第3号までに定める委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合の新たに選任される委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 看護学部長（以下「学部長」という。）は、必要と認めるときは、随時教務委員会に出席して意見を述べるができる。

(教務委員長)

第3条 教務委員会に教務委員長を置く。

2 教務委員長は、教務委員の中から教授会が指名し、学長が任命する。

3 教務委員長は、教務委員会を招集し、その議長となる。

4 教務委員長は、教務委員会を招集し、議事を終了したときは、遅滞なく審議内容を教授会に報告する。

5 教務委員長に事故あるときは、教授会があらかじめ指名した者がその職務を代行する。

(教務委員会の招集)

第4条 教務委員会は、原則として毎月第2火曜日に開催するほか、議長が必要と認めた場合は、臨時に開催することができる。

(専門部会)

第5条 教務委員会に専門的事項を検討するため、次の専門部会を置く。

- (1) 教育評価・研修部会
- (2) 臨地実習部会
- (3) 試験部会
- (4) その他必要な専門部会

2 各専門部会の業務分担は、別表のとおりとする。

(専門部会の構成)

第6条 専門部会は、次の各号の部会毎に当該各号に掲げる専門部会委員をもって構成し、学長が任命する。

(1) 教育評価・研修部会 教務委員会が指名する教務委員及び看護学部教員並びに教養教育センター委員会が指名する教員 若干名

(2) 臨地実習部会及び試験部会 教務委員会が指名する教務委員及び看護学部教員 若干名

2 前項各号の教務委員会の指名は、すべての看護学部教員（教授、准教授、講師、助教及び助手）がいずれかの専門部会

に属するように行うこととする。

- 3 第1項に定める委員の任期は2年とし、再任を妨げない。
- 4 委員に欠員が生じた場合の新たに選任される委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 学部長は、必要と認めるときは、随時専門部会に出席して意見を述べるができる。
(専門部会長)

第7条 各専門部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、教務委員の中から教務委員長が指名し、学長が任命する。
- 3 部会長は、専門部会を招集し、その議長となる。
- 4 部会長は、専門部会を招集し、議事を終了したときは、遅滞なく審議内容を教務委員会に報告するものとする。
- 5 部会長に事故あるときは、教務委員会があらかじめ指名した者がその職務を代行する。
(構成員以外の出席者)

第8条 教務委員会又は各専門部会が必要と認めるときは、構成員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、教務委員会の運営に関し必要な事項は、教務委員会の議を経て教務委員長が別に定める。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、教務委員会及び教授会の議を経て学部長が行う。

(事務)

第11条 この規程に関する事務は、看護学部教務課が行う。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日から施行する。(事務局組織の再編に伴う名称変更)

別表（第5条第2項関係）

専門部会	業務分担
1. 教育評価・研修部会	(1) 授業評価に関する事項 (2) 認証評価等の実施及び評価報告書に関する事項 (3) 教員FD（WS、シンポジウム等）に関する事項 (4) 教育関連会議の情報収集及び教員派遣に関する事項
2. 臨地実習部会	(1) 臨地実習カリキュラム編成・実行に関する事項 (2) 臨地実習評価に関する事項 (3) 臨地実習受入れ施設との連絡・調整に関する事項 (4) 教員の巡回指導計画に関する事項 (5) 臨地実習に係る教員及び実習施設の職員等への研修に関する事項（教育評価・研修部会と共同作業） (6) 臨地実習の水準確保施策策定に関する事項
3. 試験部会	(1) 試験の実施方法及び運用等に関する事項 (2) 保健師・助産師・看護師国家試験の分析及び対策に関する事項
4. その他必要な専門部会	(1) その他必要な事項